

健康福祉部

生活福祉課

障がい者支援課

高齢者支援課

健康課

1 民生委員・児童委員

(1) 構成人員

地 区 名	人 員 数
秋川第一地区	2 1
秋川第二地区	2 5
五日市地区	2 4
合 計	7 0

(2) 民生委員・児童委員活動状況

内 訳			件 数
相 談 ・ 支 援	内 容 別	在宅福祉	3 2
		介護保険	6 3
		健康・保健医療	5 6
		子育て・母子保健	4 8
		子どもの地域生活	7 6
		教育・学校生活	1 4 2
		生活費	2 6
		年金・保険	4
		仕事	7
		家族関係	1 6
		住居	2 4
		生活環境	2 1
		日常的な支援	1 1 7
		その他	2 9 8
		合 計	9 3 0
	分 野 別	高齢者に関すること	4 5 4
		障がい者に関すること	1 9
		子どもに関すること	2 8 7
		その他	1 7 0
		合 計	9 3 0
そ の 他 の 活 動		調査・実態把握	2 5 1
		行事・事業・会議への参加・協力	1 , 8 4 7
		地域福祉活動・自主活動	1 , 0 7 5
		民児協運営・研修	2 , 2 4 6
		証明事務	1 3 5
		要保護児童発見の通告・仲介	3
訪 問 活 動		訪問・連絡活動	5 , 1 3 8
		その他	2 , 1 3 3
連 絡 調 整 回 数		委員相互	2 , 6 3 9
		その他の関係機関	3 , 0 1 8

※ 相談・支援件数は、1人の相談者から複数の相談を受けた場合、内容別に記載している。

2 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、毎年7月を強調月間とし、罪を犯した人や非行に陥った少年たちの更生や犯罪の防止について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。

市では、保護司が中心となり、市内小・中・高等学校、町内会・自治会、民生児童委員協議会、更生保護女性会等の協力により、市内４駅で広報活動を実施した。

駅頭広報活動（平成３０年７月２日実施）

実施場所	東秋留駅	秋川駅	武蔵増戸駅	武蔵五日市駅	合 計
参加人員（人）	６１	８８	４３	５６	２４８

３ 社会福祉法人指導検査事業

（１）所轄法人の状況（単位：法人）

社会福祉協議会	１施設のみを経営する法人	複数の施設を経営する法人	合 計
１	５	６	１２

（２）認可等事務状況

定款変更	３件
------	----

（３）指導検査実績（単位：件）

	検査件数	うち都との同日検査	文書指摘あり
一般検査	２	２	０
特別検査	１	１	１
合 計	３	３	１

４ 生活資金貸付（貸付限度額１件８０，０００円）

貸付件数	金額（円）
１	６０，０００

５ 菅生交流会館の利用状況・使用料

開館日数	施設区分	利用件数	使用料			
			徴収分		減免分	
			件数	金 額（円）	件数	金 額（円）
３５９	ホール	３２	１	３，０００	３１	６７，５００
	会議室	１４	０	０	１４	３７，５００
	和 室	１	０	０	１	２，４００
合 計		４７	１	３，０００	４６	１０７，４００

６ 受験生チャレンジ支援貸付事業

受験生チャレンジ支援貸付事業は、学習塾等の受講費用及び高等学校、大学等の受験費用に対し、一定所得以下の世帯に必要な資金の貸付けを行うことによって、子どもたちの学習意欲をサポートする東京都の低所得者・離職者対策事業であり、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会への委託により実施した。

内 容	内 訳	件 数
学習塾等受講料貸付	中学３年	２０
	高校３年	８
受 験 料 貸 付	中学３年	１４
	高校３年	１７
合 計		５９

７ 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業は、生活保護に至る前の段階で包括的な相談支援を行うことにより、相

談者の自立の促進を図ることを目的としている。相談窓口では、就労を始めとする生活上の相談支援を行う自立相談支援事業と、離職者であり就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失又は喪失するおそれのある者を対象とした住居確保給付金支給事業を実施している。更に平成28年度からは、家計面から生活再建の検討が必要な者を対象とした家計相談支援事業を実施している。

(1) 月別生活困窮者自立相談状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初回相談件数	9	13	11	11	18	15	11	10	10	11	13	9	141
継続相談件数	33	33	39	37	45	39	43	34	35	34	37	40	449
合 計	42	46	50	48	63	54	54	44	45	45	50	49	590

(2) 主な相談経路

相談経路	件 数
直接来庁・電話	64
市役所他部署からの紹介	41
ハローワーク	5
社会福祉協議会	6
民生委員・児童委員	8
その他	17
合 計	141

(3) 主な相談内容（新規相談：複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康、障害に関すること	16	債務や税金、公共料金等の支払いに関すること	38
住まいに関すること	11	地域・家族との関係に関すること	16
収入、生活費に関すること	75	子育て・ひきこもり等に関すること	1
仕事探し、就職に関すること	39	その他	38

(4) 住居確保給付金

世帯区分	支給対象者数	金 額（円）
単 身	1	36,000
複 数	2	212,000
合 計	3	248,000

(5) 就労支援

支援対象者区分	就労支援者数	就労決定者数
自立相談支援対象者	26	12
住居確保給付金対象者	3	1
合 計	29	13

(6) 家計相談支援事業

家計相談支援対象者数	支援終了者数	継続相談支援者数
14	7	7

8 福祉サービス連携推進会議

あきる野市地域保健福祉計画に基づく福祉サービスの連携及び推進を図るため、あきる野市福祉サービス連携推進会議を設置した。

平成30年度は、令和2年度から5年間の次期計画の策定方針、手順等の検討を行った。

推進会議メンバー

健康福祉部長（議長）、子ども家庭部長（副議長）、障がい者支援課長、高齢者支援課長、健

康課長、子ども政策課長、子ども家庭支援センター所長、保育課長及び生活福祉課長

9 秋川ふれあいセンターの指定管理者による管理

秋川ふれあいセンターについては、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、管理運営を委託している。

(1) 指定管理者 社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会

(2) 指定の期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

(3) 施設利用状況

開館 日数	施設区分	利用件数	利用人数	使用料	
				徴収分（円）	減免分（円）
334	第1会議室	292	1,996	160,000	495,000
	第2会議室	236	1,615	88,000	499,000
	第3会議室	232	1,677	94,500	517,000
	寿の間	264	5,143	385,200	670,500
	ふれあい ホール	338	22,177	1,128,700	3,245,764
	備品	17		34,000	0
	合 計	1,379	32,608	1,890,400	5,427,264

10 生活保護法（保護費支払状況）

区 分	支出額（円）	構成比率（％）
生活扶助	446,032,489	28.52
住宅扶助	299,572,532	19.16
教育扶助	8,275,474	0.53
介護扶助	42,575,996	2.72
医療扶助	735,777,364	47.05
出産扶助	0	0.00
生業扶助	4,807,652	0.31
葬祭扶助	4,452,104	0.28
就労自立給付金	489,069	0.03
進学準備給付金	100,000	0.01
保護施設事務費	21,780,220	1.39
合 計	1,563,862,900	100.00

※ 医療扶助（平成30年3月から平成31年2月診療分）の診療報酬明細書（レセプト）関連
 算定額 744,232,240円（17,673件）
 確定額 730,999,210円
 過誤調整額 13,233,030円
 （過誤調整額内訳）

内 訳	過誤調整金額	再審査請求件数	査定件数
資格点検による過誤調整	10,262,476円	177件	167件
内容点検による過誤調整	1,621,618円	275件	83件
その他（医療機関取下げ等）	1,348,936円	—	7件

11 法外援護

生活保護法による被保護世帯に属する学童及び生徒に対して、夏季健全育成費等の費用を支給し、当該世帯の学童及び生徒の健全育成並びに世帯の自立助長を図った。また、被保護者及び被保護世

帯に対して、自立支援に要する経費の一部を支給することにより被保護者等の自立促進を図った。

(1) 健全育成事業

ア 夏季健全育成費

区 分	人 員	金 額 (円)
小 学 生	4 3	1 4 1 , 9 0 0
中 学 生	2 5	8 2 , 5 0 0
合 計	6 8	2 2 4 , 4 0 0

イ 学童服及び運動衣購入金

区 分	人 員	金 額 (円)
学童服	小学生	3 9
	中学生	1 6
小 計	5 5	6 2 7 , 0 0 0
運動衣	小学生	4 2
	中学生	2 3
小 計	6 5	2 6 6 , 5 0 0
合 計	1 2 0	8 9 3 , 5 0 0

ウ 自立援助金

区 分	人 員	金 額 (円)
中学校卒業生	0	0

エ 修学旅行支度金

区 分	人 員	金 額 (円)
小 学 生	6	2 5 , 8 0 0
中 学 生	8	6 8 , 0 0 0
合 計	1 4	9 3 , 8 0 0

(2) 自立促進事業

内 容	人 員	金 額 (円)
学習環境整備支援費 (中学3年生)	3	4 7 6 , 3 5 1
学習環境整備支援費 (高校1年生)	1	7 5 , 0 6 0
学習・相談ボランティア派遣費用	1	3 3 , 0 0 0
大学等進学支援費	1	8 0 , 0 0 0
住宅契約関係費 (鍵交換費等)	3	4 4 , 2 8 0
合 計	9	7 0 8 , 6 9 1

12 災害見舞金支給事務

内 訳	件 数	金 額 (円)
居宅が全壊、全焼又は流失	0	0
居宅が半壊、半焼又は床上浸水	0	0
死 亡	0	0
負 傷	0	0
合 計	0	0

13 戦没者追悼式 (あきる野市遺族会と共催)

日 時 平成30年11月24日

場 所 五日市地域交流センター まほろばホール

参列者 97人

生活福祉課 保護係

1 生活保護法事務事業

被保護世帯数は、平成30年度末現在700世帯で、平成29年度末の690世帯と比較して、10世帯（1.45%）増加した。また、世帯人員は、平成30年度末現在1,005人で、平成29年度末の971人と比較して、34人（3.50%）増加した。

世帯類型では、高齢者世帯の構成比が49.86%となり、被保護世帯の高齢化が進んでいる。

（1）被保護者の世帯・人員の状況

世 帯 類 型	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		対前年度比 (%)
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	
高 齢 者 世 帯	3 3 5	4 8 . 5 5	3 4 9	4 9 . 8 6	4 . 1 8
母 子 世 帯	5 7	8 . 2 6	6 2	8 . 8 6	8 . 7 7
障 害 者 世 帯	8 4	1 2 . 1 7	7 6	1 0 . 8 6	△ 9 . 5 2
傷 病 者 世 帯	1 4 0	2 0 . 2 9	1 3 5	1 9 . 2 9	△ 3 . 5 7
そ の 他 の 世 帯	7 3	1 0 . 5 8	7 4	1 0 . 5 7	1 . 3 7
保護停止中世帯	1		4		
保護停止中人員	1		6		
世 帯 数 合 計	6 9 0		7 0 0		1 . 4 5
人 員 合 計	9 7 1		1 , 0 0 5		3 . 5 0
保 護 率 (%)	1 2 . 0 %		1 2 . 4 %		

※ 保護率：‰（パーミル）は、千分率であり、1,000人当たりの人員を示す。

（2）月別生活保護受給状況（保護停止中を除く、現に保護を受けたもの）

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
世帯数	686	683	687	685	681	682	689	697	700	699	696	696
世帯人員	964	958	968	969	966	968	975	988	991	990	993	999

（3）生活保護受給内訳（年度末累計）

区 分	平成29年度		平成30年度	
	世帯数	人員	世帯数	人員
生活扶助	6,547	9,358	6,626	9,484
住宅扶助	6,655	9,305	6,618	9,311
教育扶助	690	995	615	868
介護扶助	1,567	1,669	1,551	1,661
医療扶助	7,105	9,445	7,283	9,402
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	241	289	357	406
葬祭扶助	7	7	12	12
保護施設事務費	62	66	93	138
合 計	22,874	31,134	23,155	31,282

（4）被保護世帯の労働力類型（年度末累計）

種 別	高齢者 世 帯	母子世帯	傷病障害 者 世 帯	その他 の世帯	合 計 (世帯)	医療単給世 帯(再掲)
世帯主が働いている世帯	139	350	324	346	1,159	11
世帯主は働いていないが世帯員が働いている世帯	22	21	161	73	277	0
働いている者がいない世帯	3,879	361	2,149	456	6,845	409
総 数	4,040	732	2,634	875	8,281	420

(5) 医療扶助受給人員（病類別、年度末累計）

種 別	精神病	その他	総 数
人 数	4 9 9	8, 9 0 3	9, 4 0 2

(6) 介護扶助受給人員及びサービス利用件数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
人 員	135	135	136	136	135	137	137	142	144	142	142	140
利用件数	327	366	348	350	370	349	352	382	373	373	342	356

(7) 医療扶助受給人員（入院・入院外別）

月別 区分	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
入院	65	53	54	54	59	60	61	55	55	56	69	64
入院外	731	717	735	736	721	717	719	737	716	728	726	714

(8) 医療扶助取扱件数

要否意見書	医療券				施 術 治療材料	検 診 命令
	入 院	入院外	調 剤	歯 科		
2, 6 8 7	9 5 4	1 2, 6 7 2	1 0, 8 8 2	2, 7 2 1	5 2	1 7 9

(9) 保護の概要及び取扱件数

相談件数	申請受理件数	保護決定件数 (うち職権保護)	却下件数	取下げ件数	廃止件数
2 2 8	1 1 8	1 0 0 (1)	1 0	6	8 5

2 就労支援の状況

(単位：件)

就労支援員との面接・相談支援	うち生活保護受給者等就労自立促進事業要請	就労件数
5 6	3 0	1 7

※ 生活保護受給者等就労自立促進事業：ハローワークが実施する就労自立促進事業

3 行旅死亡人等取扱状況

葬祭を執行する者がいない又は身元が判明しない死亡人の埋火葬を市が執り行った。

区 分	件数	費用（円）
身元判明者（葬祭執行者なし）	1	9 4, 6 8 0
身元不明者	0	0
合 計	1	9 4, 6 8 0

障がい者支援課 障がい者支援係

1 自立支援給付事業

(1) 障害福祉サービス費

区 分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額 (円)
介護給付費	居宅介護	1,018	6,468	36,783,300
	重度訪問介護	114	1,777	35,240,278
	行動援護	128	554	8,860,254
	同行援護	222	883	9,188,206
	療養介護	96	2,920	25,237,560
	生活介護	1,969	37,995	424,487,674
	短期入所	1,103	5,443	56,104,528
	施設入所支援	673	19,889	85,250,790
	介護給付費 (計)	5,323	75,929	681,152,590
訓練等給付費	共同生活援助	1,099	30,441	205,323,869
	宿泊型自立訓練	19	566	1,950,292
	自立生活援助	21	94	346,694
	自立訓練 (機能訓練)	0	0	0
	自立訓練 (生活訓練)	57	911	7,051,714
	就労移行支援	187	3,260	31,038,140
	就労継続支援A	131	2,622	17,963,350
	就労継続支援B	1,954	33,558	238,392,924
	就労定着支援	6	8	175,446
	訓練等給付費 (計)	3,474	71,460	502,242,429
相談支援給付費	計画相談支援	877		13,679,309
	地域移行支援	7	16	204,597
	地域定着支援	0	0	0
	相談支援給付費 (計)	884	16	13,883,906
小 計		9,681	147,405	1,197,278,925
特定障害者特別給付費		1,669	18,201	16,026,309
合 計		11,350	165,606	1,213,305,234
都加算短期入所費		942	5,074	14,103,176
都加算グループホーム費 (知的・精神)		954	29,232	65,083,377
総 合 計		13,246	199,912	1,292,491,787

(2) 補装具費

種 目	延べ件数	金額 (円)
児 童	装 具	64
	座位保持装置	11
	補聴器	1
	車椅子	13
	電動車椅子	2
	座位保持椅子	2
	起立保持具	4
	歩行器	3
小 計		100
成 人	義 肢	3
	装 具	34
	座位保持装置	5
	盲人安全つえ	3
	義 眼	1
	補聴器	37
	車椅子	29
	電動車椅子	11
	歩行器	1
	歩行補助つえ	1
	重度障害者用意思伝達装置	1
小 計		126
合 計		226

(3) 重症心身障害児（者）通所事業費

実人数	金額（円）
15	34,789,640

(4) 療養介護医療費

実人数	入院（人）	通院（人）	調剤（人）	金額（円）
8	8	0	0	7,217,054

(5) 高額障害福祉サービス費

実人数	助成額（円）
31	936,559

(6) グループホーム等家賃助成

実人数	助成額（円）
63	8,157,000

2 障害児施設給付事業

区 分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額（円）
障害児通所給付費	児童発達支援	309	2,144	24,739,255
	放課後等デイサービス	2,699	20,719	204,722,655
小 計		3,008	22,863	229,461,910
障害児相談支援 給付費	障害児相談支援	349		5,694,760
合 計		3,357	22,863	235,156,670

3 地域生活支援事業

(1) 移動支援費

延べ件数	金額（円）
1,948	55,105,151

(2) 日中一時支援費

延べ件数	金額（円）
67	687,852

(3) 日常生活用具給付費

種目	延べ件数	金額（円）
ストマ装具	1,560	15,265,668
紙おむつ	179	2,032,800
その他	30	1,644,483
合 計	1,769	18,942,951

(4) 福祉ホーム運営費助成

実人数	金額（円）
4	1,104,000

(5) 精神障害者社会復帰事業

ア 精神障害者地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
精神障害者地域生活支援センター フィレ	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館 2階	19,240,000

イ 地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
秋川虹の家	あきる野市油平247番地1	4,820,000

4 自立支援医療費

(1) 更生医療給付費

実人数	入院（人）	通院（人）	調剤（人）	金額（円）
36	10	35	27	60,225,361

(2) 育成医療給付費

実人数	入院（人）	通院（人）	調剤（人）	金額（円）
-----	-------	-------	-------	-------

5	2	5	0	283,016
---	---	---	---	---------

5 障がい者就労・生活支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
あきる野市障がい者就労・生活支援センター	あきる野市秋川一丁目7番地6 リヴェール麗 2階	19,271,200

6 障害者相談支援事業運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
あきる野市障がい者相談支援センター	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館 1階	9,300,000

障がい者支援課 障がい者相談係

1 障害者手帳に関する状況

(1) 身体障害者手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更 新	再交付	住所変更	氏名変更	返 還	合 計
件数	1 6 2	3 9	1 4	9 5	0	1 5 6	4 6 6

(2) 身体障害者手帳所持者数（平成31年3月31日現在）

障害区分 \ 等級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
肢 体 不 自 由	2 5 6	2 4 7	2 1 9	3 1 8	9 4	7 6	1, 2 1 0
聴覚言語等障害	8	4 6	4 0	4 8		5 8	2 0 0
視 覚 障 害	3 9	4 4	5	9	2 1	6	1 2 4
内 部 障 害	5 0 6	9	6 9	1 8 6			7 7 0
合 計	8 0 9	3 4 6	3 3 3	5 6 1	1 1 5	1 4 0	2, 3 0 4

(3) 愛の手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更 新	再交付	住所変更	氏名変更	返 還	合 計
件数	2 9	1 8	1 5	1 9	2	2 0	1 0 3

(4) 愛の手帳所持者数（平成31年3月31日現在）

程度	1 度	2 度	3 度	4 度	合 計
人数	2 4	1 5 4	1 7 6	3 5 2	7 0 6

(5) 精神障害者保健福祉手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更 新	等級変更	記載事項変更	再交付	合 計
件数	9 5	2 7 8	2	4 3	4	4 2 2

(6) 精神障害者保健福祉手帳所持者数（平成31年3月31日現在）

等級	1 級	2 級	3 級	合 計
人数	5 6	3 8 7	2 4 1	6 8 4

2 障害福祉サービス及び障害児通所支援に関すること

(1) 障害福祉サービスの支給決定の状況（平成31年3月31日現在）

受給者証交付者数570人（うち児童69人）

	成人	児童	合 計
身 体 介 護	2 9	9	3 8
家 事 援 助	5 6	0	5 6
通 院 介 助	2 9	1	3 0
重 度 訪 問 介 護	5	0	5
同 行 援 護	1 8	0	1 8
行 動 援 護	5	5	1 0
短 期 入 所	1 3 5	6 9	2 0 4
生 活 介 護	1 6 9	0	1 6 9
施 設 入 所 支 援	5 6	0	5 6
グ ル ー プ ホ ー ム	1 0 4	0	1 0 4
就 労 継 続 支 援 A 型	1 3	0	1 3
就 労 継 続 支 援 B 型	1 7 8	0	1 7 8
就 労 移 行 支 援	1 8	0	1 8
自 立 訓 練	4	0	4
自 立 生 活 援 助	2	0	2

療 養 介 護	8	0	8
計 画 相 談 支 援	4 7 8	6 9	5 4 7

※ サービスの重複利用を含む。

(2) 障害児通所支援によるサービスの給付決定の状況（平成31年3月31日現在）

受給者証交付者数 186人

	身体障がい児	知的障がい児	精神障がい児	合 計
児 童 発 達 支 援	5	6	1 5	2 6
放課後等デイサービス	3 2	9 7	5 5	1 8 4
障 害 児 相 談 支 援	3 7	1 0 3	7 0	2 1 0

※ 障害種別の重複を含む。

3 地域生活支援事業に関すること

(1) 重度心身障害者（児）日常生活用具給付等事業の状況

在宅の重度の心身障がい者（児）に対して、日常生活の便宜を図るため、用具を給付した。

	給付決定人数	給付品数
ストマ装具	1 6 1	1 6 1
紙 お む つ	1 5	1 5
その他（頭部保護帽等）	2 9	3 4

(2) 手話の普及等に関すること

ア 手話通訳者等派遣事業の状況

聴覚、音声機能又は言語機能の障害により、家庭生活及び社会生活を営む上で支障がある場合に手話通訳者を派遣した。

	利用実人数	利用回数	延べ時間数	金 額（円）
要約筆記	0	0	0 時間 0 0 分	0
手話通訳（社会福祉協議会・東京手話通訳等派遣センター）	5	1 6	2 3 時間 0 7 分	1 0 6 , 3 0 0

イ 登録手話通訳者に対する研修会

後輩手話通訳者へのアドバイスの仕方をもとに、通訳現場での問題点や事例検討を行った。

開催日 平成31年2月23日

講師 東京手話通訳等派遣センター 養成・研修課 河野光子さん

参加者数 4人

ウ 手話奉仕員養成講座

手話通訳士・東京都認定登録手話通訳者の講師を招き、手話の初級・中級及び初級・中級講座修了者を対象とした上級・応用を学ぶことを通じて手話の普及を図るとともに、手話奉仕員の養成を図った。

期間	実施回数	1 回当たりの時間	受講生数	
平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	1 8	2 時間	初級・中級	2 1 人
			上級・応用	2 0 人
平成30年10月1日から 平成31年3月31日まで	1 8	2 時間	初級・中級	2 0 人
			上級・応用	1 3 人

(3) 移動支援事業及びその他の事業の給付決定状況

受給者証交付者数 328人（うち児童89人）

	移動支援事業	日中一時支援事業	合 計
身 体 障 が い 者	8 1	1 0	9 1

知的障がい者	180	21	201
精神障がい者	18	0	18
児 童	88	8	96

※ 障害種別及び給付事業の重複を含む。

(4) 自動車運転教習費助成事業の状況

心身障がい者の社会参加を促進するため、自動車運転免許取得経費の一部を助成した。

給付件数	給 付 金 額 (円)
3	494,400

(5) 自動車改造費助成事業の状況

重度身体障がい者の社会復帰の促進を図るため、重度身体障がい者が就労等に伴い自動車を取得する際に自動車の改造に要する費用の一部を助成した。

給付件数	給 付 金 額 (円)
1	133,900

4 重度身体障害者（児）住宅設備改善費給付事業の状況

在宅の重度の身体障がい者（児）に対して、日常生活の利便を図るための住宅設備改善に要する費用を助成するものだが、実績がなかった。

給付件数	給 付 金 額 (円)
0	0

5 精神保健福祉に関する個別援助の状況

	居宅生活支援事業等の利用に関する相談		精神保健福祉相談		合 計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
来 所	10	23	23	81	33	104
電 話	3	8	16	186	19	194
訪 問	12	16	18	38	30	54
関係機関連絡	6	61	61	956	67	1,017
合 計	31	108	118	1,261	149	1,369

6 医療費助成に関すること

(1) 心身障害者医療費助成の状況

受給者の状況（平成31年3月31日現在）

加入保険種別	受給者数	住民税非課税者（再掲）
国民健康保険	437	375
社会保険	217	135
後期高齢	137	137
合 計	791	647

(2) 障害者医療費助成の状況

ア 自立支援医療費（精神通院）支給認定申請の状況

在宅の精神障がい者に対し適正な医療を普及するため、通院医療費の補助を行った。

(ア) 自立支援医療費（精神通院）支給認定者数 1,316人

(イ) 自立支援医療費（精神通院）申請件数

区分	新規承認	更新・再開	追加交付	認定内容 変更	他道府県 転入	記載事項 変更	合 計
----	------	-------	------	------------	------------	------------	-----

件数	1 2 7	1, 2 1 1	3 5	1 9 6	5	2 6 8	1, 8 4 2
----	-------	----------	-----	-------	---	-------	----------

イ 自立支援医療費（更生医療）支給認定申請の状況

身体障がい者に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力、職業能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定人数
じ ん 臓 機 能 障 害	2 7
免 疫 機 能 障 害	8
肢 体 不 自 由	1
音声・言語・そしゃく機能障害	1
合 計	3 7

ウ 自立支援医療（育成医療）支給認定申請の状況

身体障がい児や将来障害を残すと認められる疾患がある児童に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定人数
肢 体 不 自 由	1
音声・言語・そしゃく機能障害	3
心 臓 機 能 障 害	1
合 計	5

エ 小児精神障害者入院医療費助成の状況

区分	新規申請	継続申請	記載事項変更	合 計
件数	5	0	0	5

7 難病医療費等助成、難病患者支援事業

(1) 難病医療費等助成申請の状況

区分	新 規	更 新	変更届	再交付	重症申請	その他	返 還	合 計
件数	1 6 0	7 3 2	1 2 1	6	0	1	1 0 1	1, 1 2 1

(2) 対象者数（平成31年3月31日現在）

分 類	病 名	対象者数
神経・筋疾患	パーキンソン病	8 8
	その他（16疾病）	8 5
免疫系疾患	全身性エリテマトーデス	4 3
	その他（13疾病）	5 8
消化器系疾患	潰瘍性大腸炎	7 5
	その他（4疾病）	3 8
視覚系疾患	網膜色素変性症	1 9
血液系疾患	特発性血小板減少性紫斑病 その他（1疾病）	9
内分泌系疾患	下垂体前葉機能低下症 その他（5疾病）	2 8
呼吸器系疾患	特発性間質性肺炎 その他（3疾病）	1 7
皮膚・結合組織疾患	全身性強皮症 その他（6疾病）	1 5
骨・関節系疾患	後縦靱帯骨化症 その他（3疾病）	3 9
循環器系疾患	特発性拡張型心筋症 その他（2疾病）	1 1
腎・泌尿器疾患	一次性ネフローゼ症候群 その他（3疾病）	1 7
代謝系疾患	全身性アミロイドーシス その他（1疾病）	2
染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	オスラー病	1
東京都単独の対象疾病	びまん性汎細気管支炎 その他（2疾病）	3
特殊医療	人工透析を必要とする腎不全	1 7 7

	先天性血液凝固因子欠乏症等	4
合 計	7 5 疾病	7 2 9

(3) B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度申請の状況

対象治療法	実人数
B・C型ウイルス肝炎インターフェロン	0
B型ウイルス肝炎核酸アナログ製剤	3 4
C型ウイルス肝炎インターフェロンフリー	1 2
合 計	4 6

(4) 難病患者支援事業利用状況

支援内容	実人数
難病医療費助成申請時の面談	5 7
難病療養・生活相談	8 1
家庭等訪問相談	1
就労相談	1
合 計	1 4 0

(5) 難病講演会

「全身性エリテマトーデス ～最新情報と病状に応じた生活の工夫～」

開催日 平成31年1月31日

講 師 東海大学医学部附属八王子病院 リウマチ内科 佐々木則子先生

参加者数 27人

8 精神障害者地域活動支援センター事業

精神障がい者の日常生活の支援、家族も含めた相談支援、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図った。登録者数 94人

(1) 相談支援事業

	居宅生活支援事業等の利用に関する相談		精神保健福祉相談		合 計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
来 所	8 7	2 1 5	7 9	3 8 6	1 6 6	6 0 1
電 話	2 0 9	2, 0 0 6	9 9	7 0 8	3 0 8	2, 7 1 4
訪 問	8	3 5	7	1 8	1 5	5 3
関係機関連絡	8 5	8 3 5	3 4	3 6 5	1 1 9	1, 2 0 0
そ の 他	4 7	2 8 0	4 4	8 9 9	9 1	1, 1 7 9
合計	4 3 6	3, 3 7 1	2 6 3	2, 3 7 6	6 9 9	5, 7 4 7

(2) 地域活動支援センター活動詳細

内 容	実施回数	利用者数
グループ活動	1 2 5	7 7 7 (1回平均 6.2人)
生 産 活 動	2 3 7	2, 9 7 9 (1回平均12.6人)
オープンスペース	2 9 4	1, 2 8 2 (1回平均 4.4人)
開 所 日 数	2 9 4	5, 0 3 8 (1日平均17.1人)

9 手当支給の状況

心身障害者福祉手当・特別障害者手当等の支給状況

手当の名称	延べ支給人数	支給額(円)
心身障害者福祉手当	1 9, 2 8 0	2 1 1, 6 6 4, 0 0 0
特別障害者手当	9 4 9	2 5, 4 9 2, 2 9 0

障害児福祉手当	4 8 4	7, 0 8 5, 1 4 0
経過的福祉手当	1 2	1 7 5, 6 6 0
合計	2 0, 7 2 5	2 4 4, 4 1 7, 0 9 0

10 各種助成事業の状況

(1) 心身障害者(児)交通費等助成金支給事業の状況

心身障がい者(児)の通院及び生活圏拡大のために利用する電車、バス、タクシー等の運賃及び自家用車のガソリン等の燃料費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。(1人当たり月額 2, 4 0 0 円)

延べ支給人数	支給額(円)
1 8, 6 6 9	4 4, 8 0 5, 6 0 0

(2) 心身障害者(児)おむつ等給付事業の状況

心身障がい者(児)に対し、おむつ代の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。(1人当たり月額上限 5, 0 0 0 円の現物支給)

延べ支給人数	支給額(円)
8 9 4	4, 0 4 0, 5 0 0

(3) 心身障害者(児)水道料金助成事業の状況

心身障がい者(児)を有する世帯に対し、水道料の基本料金を助成し、経済的負担の軽減と生活の安定及び福祉の向上を図った。(年2回支給)

延べ助成世帯数	助成額(円)
1 1 2	7 0 9, 1 8 7

11 重度脳性麻痺者介護事業の状況

重度の脳性麻痺者を介護し、生活圏の拡大を図るための援助を行い、重度脳性麻痺者の福祉の増進を図った。

実介護人数	延べ介護日数	介護人手当額(円)
6	7 3 0	4, 7 8 8, 8 0 0

12 重度心身障害者(児)入浴サービス事業の状況

家庭において入浴することが困難な重度心身障がい者(児)に契約施設において入浴サービスを行うことにより、重度心身障がい者(児)の身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。(利用料 4, 5 0 0 円、自己負担額 5 0 0 円)

実施施設	延べ利用人数	事業委託費(円)
あすなろみんなの家	3 9 7	1, 7 8 6, 5 0 0
福 楽 園	0	0
西多摩療育支援センター	1 5 0	6 7 5, 0 0 0
合 計	5 4 7	2, 4 6 1, 5 0 0

13 訪問入浴サービス

自宅の浴槽及び施設での入浴が困難な在宅の重度身体障害者(児)及び難病患者に対し、訪問入浴サービスに要する費用を支給することにより、身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。(利用料 1 1, 1 0 6 円、自己負担額 1, 2 3 4 円)

利用者数	利用回数	事業委託料
1	9 5	1, 0 5 5, 0 7 0

14 身体・知的障害者相談員の活動状況

(1) 相談

相 談 内 容	件 数
生活に関すること	7
家族関係に関すること	9
施設等の入所等に関すること	1 6
就職に関すること	2
年金・手当・保険	2
その他（イベントの参加等）	2

(2) 地域活動

活 動 内 容	件 数
諸会合、指導、地域活動等	2 8

15 あきる野市障がい者就労・生活支援センター

(1) 障がい者就労・生活支援センター事業

ハローワーク等関係機関と連携し、求職活動の同行・職場見学や面接の同行・会社や家庭との連携・各種事務手続等の支援を行った。安定した生活を送るため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援等を行った。

月		4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	合計
相談	電話	177	162	145	144	171	159	155	164	180	214	229	266	2166
	来訪	160	194	128	111	111	127	181	144	117	160	116	198	1747
	訪問	37	40	40	41	34	35	50	38	34	36	37	37	459
合計（件）		374	396	313	296	316	321	386	346	331	410	382	501	4372
来訪者数(人)		47	126	72	46	36	25	30	33	27	56	31	54	583

(2) 障がい者職場体験実習事業

企業等への就労を希望する障がい者に対し、あきる野市役所及びあきる野市の施設において、職場体験の実習の機会を提供することにより、障がい者の就労に対する意欲を高め、自立した生活と社会参加の促進を図ることを目的とし実施した。（4月と12月は実施なし）

実施月に、おおむね5日間の実習を行った。

実施月	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1	2	3	合計
実習人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2 0

16 介護給付費等支給審査の状況

(1) 介護給付費等支給審査会開催の状況

審査会委員数	年間開催回数	審査件数
5	1 2	1 8 8

(2) 障害支援区分認定者の状況

（単位：人）

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
身体障がい者	1	4	7	1 2	9	3 4	6 7
知的障がい者	1	1 7	2 3	3 7	2 2	3 3	1 3 3
精神障がい者	1	2 2	6	4	2	1	3 6
難 病 患 者	0	1	0	0	0	0	1

合	計	3	4 4	3 6	5 3	3 3	6 8	2 3 7
---	---	---	-----	-----	-----	-----	-----	-------

※審査件数に対する障害支援区分認定者の障害種別状況（重複有）

17 地域自立支援協議会

（１）活動内容

障害のあるなしにかかわらず相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、地域の課題を整理しながら、基盤の整備・推進を図り、課題の解決に向けた協議の場とし、以下の活動を行った。

ア 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立性及び公平性の確保と事業評価に関すること

イ 困難事例への対応の在り方に関すること

ウ 地域の関係機関によるネットワーク構築等に関すること

エ 障害者等の権利擁護に関すること

オ 地域の障害者等を支える人材の育成に関すること

（２）全体会、各部会、プロジェクトチーム等の活動状況

名 称	開催回数	主な内容
全体会	3	・地域自立支援協議会事業報告、年度計画について ・障害福祉サービス実績報告 ・各部会・プロジェクトチーム等の活動報告
就労日中活動部会	3	・卒業生の就労状況について報告（都立あきる野学園より報告） ・あきる野夏まつり、産業祭出店 ・事業所の防災・避難訓練の取組について
こども部会	3	・特別支援教育推進計画の報告（教育委員会より） ・医療的ケア時への支援について
地域生活支援部会	3	・地域で集う場、余暇の過ごし方などの情報共有 ・グループホーム世話人や支援者の相談対応状況共有
相談支援部会	3	・制度改定後の対応について説明（障がい者支援係より） ・事例検討
当事者家族部会	3	・親亡き後の子どもの暮らし方について
権利擁護部会	3	・虐待防止の取組について（障がい者相談係より） ・成年後見制度パンフレットの検討（社会福祉協議会より）
若手職員プロジェクト	3	・若手職員アンケート実施、結果検討 ・管理者と若手職員との懇談会
障害児通所プロジェクト	3	・「発達障害啓発週間」に合わせた展示会の開催・報告 ・障害児・児童通所事業所交流運動企画の開催

（３）研修

全体研修

「障がい者の地域生活設計の理想と現実について」

開催日 平成30年10月29日

講師 日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授 綿祐二さん

参加者数 82人

18 障害者虐待防止事業

（１）障害者虐待防止ネットワーク会議

障がい者虐待の予防や早期発見、虐待を受けた障がい者の保護及び養護者に対する支援を適切に実施するため、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」第35条の規定に基づき、市内の関係機関、民間団体等との連携協力体制を整備することを目的に、あき

る野市障害者虐待防止ネットワーク会議を２回開催した。

開催日	出席者	主な内容
平成３０年７月２３日	１４人	・障がい者虐待対応の報告について ・障害者虐待防止に向けた取組
平成３１年２月１２日	１３人	・障がい者虐待対応の報告について ・障害者虐待防止事業計画について

（２）障害者虐待防止事業

障がい者に対する虐待の防止を図るため、関係機関との研修等を通じ、障害者虐待防止法の周知と正しい理解の普及を図った。

ア 障害福祉サービス事業所訪問

障害福祉サービス事業所において、虐待防止等の必要な整備がされているか、訪問して現状を把握した。また虐待ゼロ宣言ポスターを配付し、啓発を図った。

訪問時期 平成３０年６月～１１月

訪問事業所 １１事業所（居宅介護）

イ 障がい者虐待防止取組発表会

先進的な虐待防止の取組をしている事業所の取組発表会を実施した。

開催日 平成３１年２月５日

第１部：講義 講師 都立多摩総合精神保健福祉センター 精神科医 竹内真弓先生

第２部：発表会 発表者 やまぐちや 職業指導員 新島智基さん

参加者数 ４２人

ウ 防犯・不審者対策講座

障がい者に虐待等危機があると知った場合に、警察署へ相談、通報することができるようになることを目的に、障害者支援施設の事件を踏まえた防犯・不審者対策を兼ねて実施した。

開催日 平成３０年９月１１日

講師 福生警察署 生活安全課 課員

参加者数 １８人

（３）障がい者虐待防止センター事業

障害者虐待防止法の規定に基づき、市及びあきる野市障害者虐待防止センターにおいて、障がい者虐待の防止及び養護者に対する支援を実施した。

ア 虐待通報件数 ７件

イ 虐待の種類別件数

虐待の種類（通報内容による）	件数
養護者からの虐待	３
福祉従事者等からの虐待	４
使用者からの虐待	０
合計	７

ウ 虐待の内容別件数

虐待の内容（通報内容による）	件数
身体的虐待	４
性的虐待	０
心理的虐待	３
放棄・放置	１
経済的虐待	１
合計	９

※ イの虐待の種類別件数に対する虐待の内容（重複有）

エ 虐待通報への対応状況

対 応 内 容	件 数
コア会議の開催	5
訪 問	3
来 所 相 談	2
他 機 関 通 報	1
合 計	11

19 障がい者福祉計画推進委員会

「あきる野市障がい者福祉計画」の推進等に関する必要な事項について検討を行った。

（１）委員数 11人

（２）開催状況

回	開催日	主な内容
第1回	平成31年1月29日	- 障がい者福祉計画推進委員会について - 障がい者福祉の現状について - あきる野市の障がい者の状況について
第2回	3月29日	- 障害施策の推進について - 地域包括ケアシステムについて - 医療的ケア児支援について

20 障害者ふれあいスポーツ交流事業

東京2020パラリンピック競技大会に向けたスポーツ活動への参加促進と機運の醸成、東日本大震災を踏まえた防災意識の醸成等を図ることを目的として、障がい者と子どもたちが防災とスポーツを一体的に体験できるイベント「あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2018」を開催した。

開催日 平成30年9月22日 午前9時30分から午後2時まで

開催場所 都立秋留台公園、秋川体育館

協力機関・団体 15団体

参加者数 延べ4,776人

21 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障がい者やその家族等に対し、適切な支援を提供するとともに、高次脳機能障害に対する正しい理解の促進を図るため、高次脳機能障害教室を2回開催した。

（１）第1回

「災害時における高次脳機能障害のある方への配慮等について」

開催日 平成30年12月11日

講師 東京都心身障害者福祉センター 守矢亜由美さん

参加者数 14人

（２）第2回

「高次脳機能障害の理解と支援 ～障害の有無によらず誰もが輝く社会を目指して～」

開催日 平成31年2月18日

講師 三鷹高次脳機能障害研究所 関啓子さん

参加者数 39人

高齢者支援課 高齢者支援係

1 在宅サービスセンターの指定管理者による管理

指定管理者 医療法人財団暁

指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日

施設名称	指定管理委託料（円）	延べ利用者数	
		高齢者生きがい活動支援通所事業	げんき応援事業
萩野センター	13,908,000	3,458	3,313
開戸センター	13,420,000	3,249	3,588
五日市センター	13,735,000	2,111	2,713

2 高齢者福祉電話事業

高齢者の日常生活上の不安感、孤独感の解消や安否確認のために、電話の貸与及び維持費（基本料金等）を助成した。

（1）貸与件数

月	貸与（世帯）	保管（台）	月	貸与（世帯）	保管（台）	月	貸与（世帯）	保管（台）
4	9	7	8	9	7	12	9	7
5	9	7	9	10	6	1	9	7
6	9	7	10	10	6	2	9	7
7	9	7	11	9	7	3	9	7

（2）定額料金等の維持費助成件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	112	112	110	110	108	108	108	108	108	107	106	106	1,303

3 敬老の日事業

（1）町内会・自治会敬老行事推進事業助成

町内会等が主催した敬老行事に要する経費の一部を補助した。

ア 交付町内会等 85団体

イ 補助額 9,523,458円

（2）100歳到達者に祝辞と記念品贈呈

100歳に到達した方に敬意と感謝の意を表し、祝辞と1万円相当の記念品を贈呈した。

対象者数 21人

（3）最高齢者に祝辞と祝い金贈呈

市内に居住する最高齢の女性及び在宅最高齢の男性に祝辞と祝い金（各1万円）を贈呈した。

4 高齢者クラブ活動助成事業

老後の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の福祉の増進に資することを目的として活動している高齢者クラブに運営費を助成した。

（1）クラブ数、会員数等（平成30年4月1日現在）

ア クラブ数 48クラブ

イ 会員数 3,310人（補助対象人数3,308人）

ウ 補助額 14,342,223円

(2) 高齢者クラブ連合会補助

補助額 2, 223, 000円

5 高齢者配食サービス事業

居宅において調理が困難な高齢者に対し、定期的に訪問して栄養のバランスのとれた昼食を提供するとともに、安否の確認を行った。

(1) 延べ配食数 18, 054人

(2) 延べ利用者数 1, 328人

6 高齢者緊急通報システム事業（平成31年3月31日現在）

65歳以上のひとり暮らし等の高齢者で、慢性疾患等のため常時注意が必要な方に、緊急通報機器を貸与し、生活の安全の確保を図った。

(1) 消防通報世帯数 2世帯

(2) 消防通報の協力員 3人

(3) 民間通報世帯数 113世帯

7 高齢者おむつ等給付事業

65歳以上で、おむつ等を使用している要支援1から要介護5までの方に、月額5, 000円の現金助成及び月額5, 000円を限度としておむつの現物を給付した。（ただし、介護保険法上の施設サービス利用者を除く。）

(1) 現金支給

ア 延べ人数 3人

イ 助成額 60, 000円

(2) 現物給付

ア 延べ人数 7, 327人

イ 助成額 30, 812, 740円

8 高齢者自立支援住宅改修給付事業

高齢者の居住する住宅の改修を給付することにより、在宅生活における日常動作の容易性、行動範囲の拡大の確保等を図った。

(1) 浴槽の取替え及び給湯設備の改修等 5件

給付額 1, 553, 595円

(2) 流し及び洗面台の取替え等 2件

給付額 227, 475円

(3) 便器の洋式化等 1件

給付額 95, 400円

9 高齢者自立支援日常生活用具給付事業

高齢者に対し、自立した生活の確保や日常生活の便宜を図り、安心して在宅生活を送ることができるよう日常生活用具の給付を行う。

電磁調理器 1件

給付額 22,399円

10 水道料助成事業

高齢者世帯に対し、水道料の基本料金を助成することにより、経済的負担の軽減と生活の安定を図った。

(1) 助成延べ世帯数 2,329世帯

(2) 助成額 2,480,716円

11 高齢者見守り事業

高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の方や配達業者等による見守りを実施した。

(1) 申請による見守り事業

地域別利用世帯数（平成31年3月31日現在）

事業名	東秋留	多西	西秋留	増戸	五日市	戸倉	小宮	合計
地域見守り	28	12	10	9	10	0	1	70
乳酸菌飲料配達見守り	28	15	21	11	6	0	1	82
新聞配達見守り	21	10	24	10	9	1	2	77
郵便配達見守り	27	20	19	14	10	1	2	93
一般廃棄物収集見守り	16	16	11	10	9	1	0	63
合計	120	73	85	54	44	3	6	385

(2) 各事業者の業務の範囲内における緩やかな見守り事業

協力事業者数 31事業者（平成31年3月31日現在）

12 小宮ふれあい交流事業（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

小宮地区在住の高齢者が小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）を利用し、交流事業を通じて、いつまでも地域で元気に生活し続けられることを目的に事業を実施した。

(1) 実施回数 47回

(2) 延べ参加者数 721人

(3) 医師による健康相談 3回

(4) 歯科医師による歯科口腔相談 3回

13 福祉サービス総合支援事業及び成年後見活用あんしん生活創造事業

福祉サービスの利用者等の相談、苦情対応、支援等を実施することにより、福祉サービスの利用者等が安心して適切な福祉サービスを選択し、利用できるよう支援を行った。

(1) 利用者サポート（原則として月～金に相談員を設置し、相談及び対応した。）

相談対象者数 115人 延べ対応件数 900件

(2) 専門相談の実施（司法書士による専門相談を行った。） 6回 13件

(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業 131件

(4) 成年後見人等の支援（親族後見人等連絡会等を行った。） 3回 79人

(5) 地域ネットワークの活用（地域の関係者や関係機関との連携を図った。）

(6) 運営委員会の開催 2回

14 老人保護措置事業

(1) 老人福祉法第11条に基づく措置状況（平成31年3月31日現在）

養護老人ホーム等

施設名	措置人員
松 楓 園	3
万世敬老園	1
聖明園曙荘	1
万寿園	1
さくらコート青葉町	1
やむを得ない措置	0
合 計	7

(2) 老人福祉法第11条に基づく老人ホーム入所者の措置費支払状況

区 分	施設数	延人数	支払額（円）
養護老人ホーム	5	61	10,249,849
特別養護老人ホーム	0	0	0

(3) 老人福祉法第28条及びあきる野市老人福祉法施行細則第7条に基づく費用徴収額の状況

養護老人ホーム（現年度分）

（費用徴収額については、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの分）

区 分	延べ人数	調定額（円）	過年度収入未済分 調定額（円）	収入額（円）
被措置者	52	3,781,824	0	3,781,824

(4) 入所判定委員会

委員会開催 1回

15 在宅介護支援センター事業

保健福祉サービスの利用調整や在宅介護の総合的な相談を行うことにより、介護者等の福祉の向上を図った。

相 談 件 数				相 談 者 数						
電話	来庁	訪問	合計	本人	家族	関係機関	その他			
5	1	6	1 2	1 2	0	0	0			
相 談 内 容										
介護 保険	福祉 サービス	虐待	権利 擁護	医療	生活 年金	病状	家族	近隣	状況 確認	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 2	0

16 地域包括支援センター事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、市内2か所に設置し、介護予防の拠点として、高齢者本人や家族からの相談に対応し、介護、福祉、医療、虐待防止などの必要な支援を継続的に行った。

(1) 施設名及び担当地域等

センター名	担当地域						運営事業者
高齢者はつつセンター	雨間 野辺 小川 小川東	二宮東 平沢 平沢東 平沢西	草花 菅生 瀬戸岡 原小宮	湧上 上代継 下代継 牛沼	秋川 秋留		医療法人財団暁

	二宮	切欠	引田	油平		
五日市はつらつセンター	山田 上ノ台 網代 伊奈	横沢 三内 五日市 小中野	小和田 留原 高尾 館谷	入野 深沢 戸倉 乙津	養沢 小峰台 館谷台	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会

(2) 総合相談事業

主に、介護保険、福祉サービス、虐待、権利擁護、医療、生活、年金、病状、家族、近隣に関することなどの相談に応じた。(単位：件)

施設名	来所	電話	訪問	合計
高齢者はつらつセンター	358	3, 176	648	4, 182
五日市はつらつセンター	448	1, 747	266	2, 461
合計	806	4, 923	914	6, 643

(3) 権利擁護事業

項目	高齢者はつらつセンター	五日市はつらつセンター	合計
高齢者虐待と捉えた人数	4	5	9
成年後見に関する相談件数	7	38	45
消費者被害防止に関する相談件数	2	8	10
高齢者専門法律相談会の実施	年6回		13人
権利擁護に関する研修会等の実施	2回		25人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

ア 包括的・継続的なケア体制の構築

高齢者クラブ理事会・民生委員協議会・ふれあい福祉委員研修会等への出席

イ 日常的個人指導・相談

(ア) 介護支援専門員からの相談 141件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 100件、五日市はつらつセンター 41件

(イ) サービス担当者会議への参加 58件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 51件、五日市はつらつセンター 7件

(ウ) 各種研修の開催

介護支援専門員研修会等 4回 167人参加

ウ 支援困難事例への指導・助言

(ア) 専門員相談会の開催

全12回(法律相談、こころの相談、家族相談、在宅医療相談等) 32件

(イ) 困難事例対応 34件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 22件、五日市はつらつセンター 12件

(5) 介護予防支援

施設名	区分	認定区分	4月1日現在 担当数	委託事業所数
高齢者はつらつセンター	委託	要支援1	9	22
		要支援2	35	
	包括	要支援1	26	
		要支援2	85	
	小計		155	
五日市はつらつセンター	委託	要支援1	11	16
		要支援2	17	
	包括	要支援1	21	

		要支援 2	4 7	
		小 計	9 6	
	合 計		2 5 1	

(6) 介護予防ケアマネジメント

施 設 名	区分	認定区分	4 月 1 日現在 担 当 数
高 齢 者 は つ ら つ セ ン タ ー	委 託	事業対象者	0
		要支援 1	6
		要支援 2	1 7
	包 括	事業対象者	1 8
		要支援 1	3 7
		要支援 2	6 9
	小 計		1 4 7
五 日 市 は つ ら つ セ ン タ ー	委 託	事業対象者	2
		要支援 1	4
		要支援 2	1 5
	包 括	事業対象者	1 2
		要支援 1	5
		要支援 2	1 8
	小 計		5 6
合 計			2 0 3

17 認知症初期集中支援チーム運営事業

	高齢者はつらつセンター		五日市はつらつセンター	合 計
対象者数（実人数）	1（東部地区）	1 0（中部地区）	5	1 6

18 介護予防事業対象者施策

(1) 介護予防把握事業

(単位：人)

	高齢者はつらつ センター	五日市はつらつ センター	合 計
介護予防把握事業対象者数	6 8 8	2 6 4	9 5 2
利用勧奨対象者数	1 8 1	7 8	2 5 9
介護予防事業につながった者	8	2	1 0
相談支援等につながった者	5 7	4	6 1

(2) 通所介護予防事業

ア 整骨院による運動機能向上トレーニング

3 か月 1 クール、利用者 3 6 人

イ 保健師による訪問

利用者 2 人

19 一般介護予防事業施策

介護予防普及啓発事業

(1) 高齢者クラブ、町内会・自治会等からの依頼により各種講座を実施した。

テーマ：介護保険・介護予防など

地 区	箇所数	参加者数
秋川地区	3	8 0

五日市地区	8	4 0 1
合 計	1 1	4 8 1

(2) 公募型歯科予防講座「口腔ケアからはじめる介護予防」

参加者 14 人

(3) 頭シャキッと教室

12 回コースを 3 回、参加者 60 人

(4) サロン型介護予防事業

介護老人福祉施設 2 か所 実施回数 93 回

延参加者 878 人

(5) はつらつ元気アップ教室

9 回コースを 6 回、参加者 82 人（利用勧奨対象者含む）

20 地域介護予防活動支援事業

(1) 介護予防リーダー養成講座

12 回コースを 1 回、参加者 12 人

(2) 地域介護予防活動支援事業補助

ア グループ数 1 グループ

イ 補助額 127,968 円

21 介護支援ポイント事業

高齢者がボランティア活動を通して地域に貢献することを奨励及び支援することで、健康の維持を促進するとともに、生き生きと元気に暮らすことができる地域社会をつくることを目的に実施した。

登録者数 32 人

22 地域包括支援センター運営協議会の開催状況

(1) 目的

地域包括支援センターの適切な運営並びに公正及び中立性を確保するため

(2) 委員

保健医療関係者 2 人、福祉関係者 3 人、学識経験者 1 人、介護保険の被保険者 2 人、

市職員 1 人 合計 9 人

(3) 開催状況

ア 第 1 回 平成 30 年 5 月 29 日開催

イ 第 2 回 11 月 9 日開催

ウ 第 3 回 平成 31 年 3 月 20 日開催

23 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催状況

(1) 目的

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援を適切に実施するため、市内の関係機関、民間団体等との連携協力体制を整備する。

(2) 委員

福祉関係者 3 人、保健医療関係者 2 人、法律関係者 1 人、地域コミュニティ関係者 1 人、人権擁護関係者 1 人、関係機関の職員 5 人、市職員 1 人 合計 14 人

(3) 開催状況

- ア 第 1 回 平成 30 年 6 月 19 日開催
- イ 第 2 回 11 月 21 日開催
- ウ 第 3 回 平成 31 年 3 月 25 日開催

24 地域ぐるみの支え合い推進協議体の開催状況

(1) 目的

高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できることを目的に、地域における高齢者の生活支援及び介護予防の担い手と連携した多様な支援体制を整備する。

(2) 委員

保健福祉関係者 3 人、高齢者生活支援等事業者 5 人、地域コミュニティ関係者 4 人、生涯学習団体関係者 4 人、関係機関の職員 2 人、市職員 1 人 合計 19 人

(3) 開催状況

- ア 第 1 回 平成 30 年 6 月 26 日開催
- イ 第 2 回 10 月 3 日開催
- ウ 第 3 回 平成 31 年 2 月 14 日開催

25 任意事業

(1) 介護教室

高齢者を介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術を習得してもらうことを目的に実施した。

全 9 回 参加者数計 193 人

(2) 認知症高齢者見守り事業

- ア 認知症サポーター養成講座全 19 回 1, 127 人
- イ 認知症ステップアップ講座 2 回 29 人
- ウ 認知症高齢者等位置情報探索サービス事業 19 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）
- エ 高齢者等見守りキーホルダー登録事業 120 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）
- オ お守りアイロンシール登録事業 51 人（平成 31 年 3 月 31 日現在）
- カ 認知症カフェ運営事業補助
カフェ数 1 か所
補助額 82, 000 円

(3) 家族介護慰労金支給事業

重度要介護高齢者を介護する同居の家族に対して慰労金を支給することにより、身体的、精神的及び経済的な負担の軽減並びに重度要介護高齢者の在宅生活の継続と向上を図ることを目的に実施する。

支給件数 0 件

(4) 福祉用具・住宅改修支援事業

相談、情報提供などを行うとともに、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合の経費を助成する。

経費助成件数 1 件

(5) 市長による成年後見審判申立て

ア 本人の判断能力が不十分であり、成年後見制度の利用が必要だが、申立人となる親族がいない場合等、市長による申立てを行う。

申立件数 2 件

イ 市長による申立てを行った場合に、成年後見人等に対する報酬の支払が困難である者に対し、報酬の支払に係る費用の全部又は一部を助成する。

報酬費用助成 3 件 666,000 円

26 高齢者特殊眼鏡・コンタクトレンズ助成事業

老人性白内障のため水晶体の摘出手術を行ったが、眼内レンズ挿入術を受けられない高齢者に対し、特殊眼鏡、コンタクトレンズを購入する費用の一部を助成する。

助成件数 0 件

27 農援隊事業

「ふれあい いきがい 元気なまち」健康推進事業として、おおむね65歳以上の方に湊上地区、引田地区及び五日市下田地区の農地63区画を貸し出し、健康増進を目的として農作業や周辺のウォーキングなど「ふるさと農援隊」事業を実施した。

会員数 65 人（平成31年3月31日現在）

高齢者支援課 介護保険係

1 第1号被保険者の状況

(1) 第1号被保険者数

(平成31年3月31日現在)

区分	65歳以上75歳未満	75歳以上	合 計
前年度末	11,581	11,147	22,728
今年度末	11,179	11,823	23,002
増 減	△402	676	274

(2) 第1号被保険者増減内訳

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

増	転 入	65歳年齢到達	その他	合 計
	172	963	10	1,145
減	転 出	死 亡	その他	合 計
	139	727	5	871

2 介護保険料の状況

(1) 介護保険料(現年度分)

(単位:円、人)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
調定額	77,954,400	49,922,700	54,135,000	163,381,200	206,040,700	209,756,500
人数	3,042	1,418	1,270	3,300	3,277	3,002
区分	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
調定額	18,244,800	288,482,200	35,750,300	188,173,100	13,810,800	80,778,800
人数	243	3,343	390	1,843	125	724
区分	第13段階	第14段階	第15段階	合計		
調定額	72,195,000	19,727,300	33,223,500	1,511,576,300		
人数	617	161	247	23,002		

※ 調定額は令和元年5月31日現在、人数は平成31年3月31日現在

(2) 普通徴収収納状況

(単位:円)

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
調 定 額	11,842,300	13,029,800	13,855,400	11,789,700	12,583,600
純 収 入 額	10,453,200	11,652,300	12,357,400	10,462,500	11,220,500
未 納 額	1,389,100	1,377,500	1,498,000	1,333,700	1,363,100
還付未済額	0	0	0	6,500	0
収納率(%)	88.27	89.43	89.19	88.74	89.17
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合 計
調 定 額	13,446,700	14,542,000	17,043,800	1,490,900	109,624,200
純 収 入 額	12,000,000	12,948,900	15,185,300	1,316,300	97,596,400
未 納 額	1,447,000	1,610,900	1,869,000	186,400	12,074,700
還付未済額	300	17,800	10,500	11,800	46,900
収納率(%)	89.24	89.04	89.10	88.29	89.03

区分	過年度	滞納繰越分
調 定 額	1,430,700	29,024,950
純 収 入 額	1,330,900	4,609,000
未 納 額	99,800	24,416,150

還付未済額	0	200
収納率(%)	93.02	15.88

3 督促状発付状況

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
件数	351	360	379	293	327
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合計
件数	316	330	321	25	2,702

4 催告書等発付状況

催告書 879件

5 訪問徴収状況

訪問件数 359件

6 サービス受給者の状況

(1) 居宅介護（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成31年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	71	169	510	473	271	167	90	1,751
第2号被保険者	1	4	9	15	13	6	6	54
合計	72	173	519	488	284	173	96	1,805

(2) 地域密着型（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成31年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	2	2	90	79	60	41	19	293
第2号被保険者	0	0	3	3	1	1	1	9
合計	2	2	93	82	61	42	20	302

(3) 施設介護サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成31年3月審査分及び償還払3月支給決定分）

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
第1号被保険者	508	278	56
第2号被保険者	4	4	1
合計	512	282	57
区分	介護医療院	合計	
第1号被保険者	0	842	
第2号被保険者	0	9	
合計	0	851	

7 保険給付の状況

(1) 年間給付件数

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
訪問サービス	303	646	3,788	3,970	2,777	2,708	2,119	16,311
通所サービス	239	812	3,691	3,880	2,110	1,063	527	12,322
短期入所サービス	7	46	248	501	733	466	214	2,215
単品サービス	1,394	3,285	8,182	9,608	5,467	3,663	1,785	33,384
福祉用具購入	16	18	48	62	29	38	16	227
住宅改修	22	38	77	58	30	23	8	256
地域密着型サービス	23	24	1,323	1,034	822	490	241	3,957
施設サービス	0	0	460	728	2,649	3,568	2,679	10,084
老人福祉施設	0	0	55	175	1,699	2,254	1,795	5,978
老人保健施設	0	0	400	545	886	994	558	3,383
療養型医療施設	0	0	5	8	64	320	326	723
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,004	4,869	17,817	19,841	14,617	12,019	7,589	78,756

(2) 年間費用額

(単位：円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
訪問サービス	5,484,128	14,817,657	110,639,576	124,295,191	98,379,532	119,374,694	103,909,283	576,900,061
通所サービス	5,643,130	36,989,903	226,560,857	298,252,959	215,201,945	102,171,927	51,824,067	936,644,788
短期入所サービス	162,040	1,573,125	12,409,846	35,203,132	66,959,074	44,828,433	25,983,653	187,119,303
単品サービス	9,147,320	24,675,560	130,780,568	161,084,509	124,925,505	98,593,005	50,736,834	599,943,301
福祉用具購入	445,376	354,632	1,236,410	1,982,655	1,450,375	1,790,080	680,613	7,940,141
住宅改修	2,262,219	3,463,146	7,662,637	6,215,273	2,515,740	2,533,143	1,022,570	25,674,728
地域密着型サービス	1,346,647	2,376,528	104,484,349	94,318,351	142,652,976	98,386,107	60,790,100	504,355,058
施設サービス	0	0	120,319,243	199,721,681	737,618,977	1,088,445,638	877,242,971	3,023,348,510
老人福祉施設	0	0	12,473,280	43,804,495	455,546,494	648,578,657	562,210,556	1,722,613,482
老人保健施設	0	0	106,763,082	153,781,265	257,843,770	311,230,441	179,346,809	1,008,965,367
療養型医療施設	0	0	1,082,881	2,135,921	24,228,713	128,636,540	135,685,606	291,769,661
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	24,490,860	84,250,551	714,093,486	921,073,751	1,389,704,124	1,556,123,027	1,172,190,091	5,861,925,890

(3) 年間給付額

(単位：円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
訪問サービス	4,847,922	13,121,784	97,773,356	109,453,787	86,802,981	105,883,413	91,784,990	509,668,233
通所サービス	4,965,347	32,996,358	200,497,770	265,152,773	189,765,012	89,526,267	45,801,305	828,704,832
短期入所サービス	145,833	1,382,128	10,795,046	31,289,126	59,405,698	39,114,360	21,938,637	164,070,828
単品サービス	8,508,583	22,742,888	124,354,927	151,159,630	116,553,921	90,827,164	46,320,097	560,467,210
福祉用具購入	385,309	309,383	1,093,155	1,748,522	1,237,963	1,588,633	578,125	6,941,090
住宅改修	1,941,243	3,069,300	6,735,444	5,439,982	2,260,765	2,213,898	913,832	22,574,464
地域密着型サービス	1,141,617	2,138,856	92,250,851	84,008,459	126,308,929	87,577,852	54,632,347	448,058,911
施設サービス	0	0	106,623,837	177,566,589	655,438,249	967,441,251	781,595,007	2,688,664,933
老人福祉施設	0	0	11,114,639	39,089,990	404,044,519	577,257,743	503,048,906	1,534,555,797
老人保健施設	0	0	94,543,248	136,554,273	229,587,917	276,348,857	159,401,333	896,435,628
療養型医療施設	0	0	965,950	1,922,326	21,805,813	113,834,651	119,144,768	257,673,508
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	21,935,854	75,760,697	640,124,386	825,818,868	1,237,773,518	1,384,172,838	1,043,564,340	5,229,150,501

※ 単品サービス（福祉用具貸与、特定施設入居者生活介護、介護予防支援・居宅介護支援）

(単位：円)

8 高額介護（介護予防）サービス費の状況（平成30年度年間計）

限度額区分	世帯合算		その他		合計	
15,000円	0件	0円	6,743件	93,552,459円	6,743件	93,552,459円
24,600円	346件	3,500,922円	2,327件	15,328,781円	2,673件	18,829,703円
44,000円	447件	6,681,499円	1,126件	24,310,806円	1,573件	30,992,305円
年間上限	14件	586,476円	8件	270,410円	22件	856,886円
合計	807件	10,768,897円	10,204件	133,462,456円	11,011件	144,231,353円

9 高額医療合算介護（介護予防）サービス費の状況（平成30年度年間計）

限度額区分	件数	給付額
低所得者Ⅰ	231件	6,469,627円
低所得者Ⅱ	114件	2,839,949円
一般	31件	855,622円
現役並み所得者 （制度改正前）	6件	203,590円
現役並み所得者①	5件	7,589円
現役並み所得者②	0件	0円
現役並み所得者③	0件	0円
合計	387件	10,376,377円

10 介護予防・生活支援サービス事業費の状況（平成30年度年間計）

（1）訪問通所等事業費及び介護予防ケアマネジメント事業費の状況

種類	件数	費用額	給付額
訪問型サービス （訪問型サービスAを含む。）	1,339件	20,101,445円	17,784,068円
通所型サービス	2,131件	66,500,472円	58,788,803円
介護予防ケアマネジメント事業費	1,900件	9,905,975円	9,905,975円

（2）高額介護（介護予防）サービス費相当の状況

限度額区分	世帯合算		その他		合計	
15,000円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
24,600円	15件	35,738円	0件	0円	15件	35,738円
44,000円	6件	57,999円	0件	0円	6件	57,999円
年間上限	0件	0円	0件	0円	0件	0円
合計	21件	93,737円	0件	0円	21件	93,737円

（3）高額医療合算介護（介護予防）サービス費相当の状況

限度額区分	件数	給付額
低所得者Ⅰ	0件	0円
低所得者Ⅱ	0件	0円
一般	0件	0円
現役並み所得者 （制度改正前）	0件	0円
現役並み所得者①	0件	0円
現役並み所得者②	0件	0円
現役並み所得者③	0件	0円
合計	0件	0円

11 利用者負担額等減額認定関係

（1）食費・居住費に係る負担限度額認定状況（平成31年3月31日現在）

（単位：人）

利用者負担 段階	介護老人 福祉施設		介護老人 保健施設		介護療養 型医療施 設		介護医療 院		地域密着型 介護老人 福祉施設 入所者生活介 護		その他		合 計	
	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費	食費	居住 費
利用者負担 第一段階	37	41	12	12	2	2	0	0	0	0	14	14	65	69
利用者負担 第二段階	68	67	25	25	3	3	0	0	0	0	35	35	131	130
利用者負担 第三段階	199	197	72	72	16	16	0	0	14	14	114	114	415	413
合 計	304	305	109	109	21	21	0	0	14	14	163	163	611	612

(2) 介護老人福祉施設旧措置入所者に係る減額・免除の状況（平成31年3月31日現在）

食費特定標準負担額の減額 (通常1,380円)		利用者負担額の減額・減免 (通常1割)	
減額後の負担額	認定者数	利用者負担率	認定者数
0～300円	0	0～3%	0
390円	2	5%	0
650円	1	合 計	0
合 計	3		

(3) サービス提供事業者による利用者負担額減額の状況（平成31年3月31日現在）

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額
軽減制度事業 4人

12 第7期介護保険推進委員会

あきる野市介護保険推進委員会設置要綱に基づき、介護サービス基盤の整備や地域ケア体制の確立等の方策について進行管理及び課題を検討し、その成果を本市の介護保険事業の円滑な推進に役立てることを目的とする。

(1) 委員数 10人

(2) 開催状況

回	開催日	会場	主な内容
1	平成31年1月23日	市役所 本庁舎	- あきる野市介護保険推進委員会の設置について - あきる野市の介護保険事業の現状について - 推進委員会における検討事項等について

13 あきる野市生活援助サービス従事者「登録のヘルパー」養成研修

ホームヘルパーの人員確保を目的として、市独自の研修を修了した方が要支援1・2相当の方の生活援助を行う訪問介護員として従事できる制度「登録のヘルパー」の養成研修を実施した。

実施回数 1回

修了者人数 11人

14 「介護の日」のイベントを開催

介護についての理解と認識を深め、介護に関わる方の支援と、地域での支え合いや交流を促進するため、国が「介護の日」と定めた11月11日の前日にイベントを実施した。

場所 秋川ふれあいセンター

来場者数 382人

高齢者支援課 介護認定係

1 要介護・要支援認定者の状況（平成31年3月31日現在）（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	264	431	693	619	516	559	359	3,441
65～75歳未満	52	51	78	74	62	57	33	407
75歳以上	212	380	615	545	454	502	326	3,034
第2号被保険者	3	6	13	25	15	7	16	85
合計	267	437	706	644	531	566	375	3,526

2 介護予防・日常生活支援総合事業対象者の状況（平成31年3月31日現在）（単位：人）

区分	65～75歳未満	75歳以上	合 計
人数	6	32	38

3 要介護認定等の状況

（1）申請受付状況（平成30年度年間計）（単位：件）

種類	新規（再掲：転入）	更新	変更	新支	合 計
件数	1,011	1,777	307	151	3,246

（2）介護認定審査会開催の状況

ア 委員（4合議体）	20人
イ 年間開催回数	95回
ウ 審査件数	3,113件

健康課 健康づくり係

1 健康手帳の交付事業

特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に役立ててもらふことを目的として40歳以上の者に交付した。

交付対象者	交付数（冊）
健康教育、健康相談、地域イキイキ元気づくり事業等を受けた方	262
特定健康診査又は各種検診等を受けた方	1,950

2 健康教育事業

生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的とした。

市民の参加を得やすい地域の町内会・自治会館等を利用しながら、骨密度、体組成、足指力といった測定と保健・栄養・歯科などの健康の講話を取り入れた健康測定会など、健康づくりのきっかけづくりとして実施した。

区 分	内 容		実施回数	参加人数
一 般	骨密度測定会	地域の会館における測定会	2 9	5 3 8
		子育て世代向け測定会	2	4 2
		骨密度測定会	3	1 9 4
		その他（推進委員活動やその他団体からの依頼）	7	1 7 3
	地域健康教育	推進委員活動	3	1 2 1
		減塩に関する講話 持参汁物の塩分濃度％測定	2 0	講話 2 9 6 測定 2 0 4
		長寿会	1	3 8
		あきる野市地域包括支援センター主催介護教室「いつまでも、いきいきと過ごすための食生活」	1	1 6
		あきる野市高齢者クラブ連合会女性委員調理教室「高齢期を元気に過ごすための食生活・低栄養にならないために～いきいきシニアの食事～」	1	3 8
		あきる野市民生児童委員協議会 高齢福祉部会合同研修会「高齢期の食事について」	1	1 3
ふれあいウォークにおけるワンポイント		2	1 3 7	
歯周病	歯周病予防講座		1	4 9
病態別	がん予防	健康のつどいにおける講演 ～緩和ケアを知っていますか？～	1	2 9
	健康教室「美食健」	脂質異常症予防	1	1 5
		糖尿病予防	1	2 6
		高血圧症予防	1	1 8
	運動器	健康のつどいにおける講演 体と脳の健康習慣～あなたの明るい未来のために～	1	4 4
		骨粗しょう症健診会場における集団健康教育	2	1 2 9
合 計			7 8	2 , 1 2 0

3 健康相談事業

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を目的として実施した。体組成計（筋肉量や体脂肪を測定）や血圧測定を行い、個人の健康状態に合わせた相談を行った。また、相談後も必要に応じて、食事習慣の見直しなど生活習慣病の予防と改善を進めた。

区 分	内 容		実施回数	相談延べ人数
重点健康相談	歯周病	健康のつどいでの歯科相談	1	歯科 2 6
	骨粗しょう症	骨粗しょう症検診会場	1	保健 5 2 栄養 2 4
総合健康相談	定期健康相談（市役所東側ロビー及び五日市ファインプラザ）		1 2	保健 2 0 0 栄養 2 0 4
	予約による個別相談や来所や電話による随時相談		3 1 3	保健 2 3 4 栄養 9 1
	健康のつどい		1	保健 7 2
				栄養 5 2
				その他 3 8
	合 計		3 2 8	9 9 3

4 検診・健康診査事業

がん対策は、早期発見と早期治療が重要であり、検診の受診者を増加させるため、受診環境の向上策として、複数のがん検診を同日に受けるセット検診、家族や友人と受診を行うグループ検診、検診中にお子さんをお預かりするちょこっとサービスなどを実施した。また、要精検者には、精密検査の受診を勧めた。

（１）胃がん検診

ア 対象者 市内在住の３５歳以上の者

イ 受診者数 ４，９５５人（要精検者２４２人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	９月から２月まで	５１
東京都がん検診センター（施設）	９月から２月まで	５２
公立阿伎留医療センター（施設）	９月から２月まで	７４

（２）肺がん検診

ア 対象者 市内在住の３５歳以上の者

イ 受診者数 ５，６２４人（要精検者３９人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	９月から２月まで	５１
東京都がん検診センター（施設）	９月から２月まで	５２
公立阿伎留医療センター（施設）	９月から２月まで	７４

（３）大腸がん検診

ア 対象者 市内在住の３５歳以上の者

イ 受診者数 １１，１０２人（要精検者６７１人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	９月から２月まで	５１
東京都がん検診センター（施設）	９月から２月まで	５２
公立阿伎留医療センター（施設）	９月から２月まで	５
市内２０医療機関	６月から１０月まで	—

(4) 乳がん検診

ア 対象者 市内在住の30歳以上の女性

イ 受診者数 3,260人(要精検者187人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	118

(5) 子宮がん検診

ア 対象者 市内在住の20歳以上の女性

イ 受診者数 3,010人(要精検者39人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
東京都がん検診センター(施設)	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター(施設)	9月から2月まで	94
市内2医療機関	9月から2月まで	—

(6) 前立腺がん検診

ア 対象者 市内在住の50歳以上の男性

イ 受診者数 4,526人(要精検者368人)

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外(検診車)	9月から2月まで	51
市内20医療機関	6月から10月まで	—

(7) ピロリ菌検査

ア 対象者 市内在住の20歳、25歳、30歳、35歳及び39歳の者

イ 受診者数 1,009人(要精検者56人)

ウ 実施方法 糞便中抗原測定法

エ 実施期間 平成30年11月1日から12月25日まで

(8) 歯周病検診

ア 対象者 市内在住の40歳、50歳、60歳及び70歳の者

イ 受診者数 480人(要精検者236人)

実施場所	実施期間
市内22歯科医院	平成30年10月1日から12月25日まで

(9) 口腔がん検診

ア 対象者 市内在住の60歳以上の者

イ 受診者数 210人(要精検者3人)

実施場所	実施期間
市内23歯科医院	平成30年7月17日から9月29日まで

(10) 骨粗しょう症検診

ア 対象者 市内在住の40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性

イ 受診者数 129人(要精検者49人)

実施場所	実施期間
秋川ふれあいセンター	平成30年8月24日、25日

(11) 肝炎ウイルス検診

ア 対象者 40歳になる者及び41歳以上になる者で過去に市が行った肝炎ウイルス検診を受けたことがない者

イ 受診者数 40歳になる者 93人（要精検者 1人）
 41歳以上になる者 924人（要精検者 11人）

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成30年6月1日から10月31日まで

(12) 結核検診

ア 対象者 市内在住の65歳以上の者

イ 受診者数 8,792人（要精検者 192人）

実施場所	実施期間
市内22医療機関	平成30年6月1日から10月31日まで

(13) 生活習慣病予防健康診査

ア 対象者 35歳から39歳までの者

イ 受診者数 87人

実施場所	実施期間
市内22医療機関	平成30年8月1日から10月31日まで

(14) 生活保護受給者健康診査

ア 対象者 市内在住の40歳以上で健康保険に加入していない者

イ 受診者数 145人

実施場所	実施期間
市内22医療機関	平成30年8月1日から10月31日まで

(15) 訪問健康診査

ア 対象者 40歳以上の在宅で寝たきり又は寝たきりに準ずる者

イ 受診者数 2人

実施場所	実施期間
市内7医療機関	平成30年6月1日から10月31日まで

(16) 特定健康診査等

ア 特定健康診査

（ア）対象者 40歳から74歳までの国民健康保険加入者

（イ）対象者数 15,565人

（ウ）受診者数 7,820人

（エ）受診率 50.24%

実施場所	実施期間
市内22医療機関	平成30年6月1日から9月29日まで

イ 特定保健指導

（ア）対象者 特定健康診査受診者でメタボリックシンドローム判定の基準等により、特定保健指導の対象となった者のうち、参加申込みのあった者

（イ）対象者数 823人

（ウ）申込者数 134人

（エ）参加率 16.28%

(17) 後期高齢者医療健康診査

ア 対象者 後期高齢者医療保険加入者

イ 対象者数 10,720人

ウ 受診者数 5,508人

エ 受診率 51.38%

実施場所	実施期間
市内 22 医療機関	平成 30 年 7 月 2 日から 10 月 31 日まで

5 健康づくり推進協議会

開催日	内 容
平成 30 年 7 月 11 日	- 平成 29 年度健康課事業について - あきる野市特定健康診査等実施計画（第 3 期）について - めざせ健康あきる野 21（第二次）の推進について - 第 23 回あきる野市健康のつどいについて
11 月 14 日	- 第 23 回あきる野市健康のつどいについて - めざせ健康あきる野 21 推進会議の活動について - めざせ健康あきる野 21（第二次）の推進について
平成 31 年 3 月 27 日	- 平成 31 年度健康課事業について - めざせ健康あきる野 21（第二次）の脳卒中予防啓発事業について

6 健康づくり市民推進委員会

町内会・自治会から推薦され、市長より委嘱を受けた「健康づくり市民推進委員」が行政と市民のパイプ役として、市と協働で健康づくりの推進を図った。（平成 30 年 4 月末現在 122 人）

（1）会議

区 分	実施回数	出席者数
委嘱式及び全体会	1	87
役 員 会	3	43
ブロック連絡会	3	87
合 計	7	217

（2）研修会

区 分		実施回数	出席者数
流し踊り練習	あきる野夏まつりでの流し踊り練習	1	7 3
生活習慣病予防研修	「生活習慣病の理解を深めましょう～糖尿病を中心に～」	1	4 1
普通救命講習会	胸骨圧迫の方法、人工呼吸の方法、A E Dの使い方等	2	3 9
栄養研修	簡単、おいしい、健康アップ食 ～輝くカラダを作る食事～	1	3 5
呼吸・体力づくり研修	呼吸に着目した体力づくり～体験講座～	1	4 8
合 計		6	2 3 6

（3）行事等への参加

開 催	区 分	実施回数	出席者数
市	みんなでラジオ体操プロジェクト	1	11
市	あきる野夏まつり	1	43
合 計		2	54

（4）ブロック活動

市内を 12 の地域に分けたブロックごとに、健康測定会、健康に関する講習会（認知症講演会、落語で笑って健康づくり講座、体操教室など）、地域の交流会などを実施した。

開催回数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
7	211	66

（5）町内会、自治会単位活動

各町内会・自治会において健康づくり市民推進委員が中心となり、ウォーキング、健康リズム

体操、調理実習などの活動を実施した。

活動日数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
4 5 5	5, 3 0 7	6 7 2

(6) 他の団体への協力活動

実施回数	推進委員延べ人数
1 1 4	1 5 2

7 地域イキイキ元気づくり事業（介護保険法の地域介護予防活動支援事業を含む。）

健康づくり市民推進委員会を中心に、町内会・自治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員などの協力を得て地域の会館などで開催した。会場では、血圧測定、体操、レクリエーション、健康座談会（時節に合った健康ワンポイントアドバイス）等楽しみながら健康づくりを実施した。また平成30年度は油平本町と上宿の2か所を新規に立ち上げ実施した。

地域イキイキ元気づくり事業

地 区	名 称	実施回数	一 般 参加者数	推進委員 参加者数
雨間	雨間ふれあいサロン	9	1 2 8	3 2
	グリーンタウンイキイキ会	1 1	1 0 9	0
	緑の里 ☺ スマイル	1 0	1 5 4	3 6
野辺	野辺イキイキする会	1 0	2 6 0	3 1
二宮	しあわせ会	1 0	1 2 4	3 9
小川・小川東	たんぼぼグループ	6	9 0	2 2
秋留台	秋留台イキイキ元気会	5	6 0	1 0
秋川ハイツ	すこやかハイツの会	5	1 3 1	0
平沢	平沢元気になるベー会	1 0	8 7	2 8
大塚	大塚生涯青春くらぶ	9	8 4	7
上引田	シラサギ会	9	2 5 5	2 7
中引田	なごみ会	1 0	2 0 9	1 8
下引田	下引田ふれあいサロン	9	1 2 7	2 7
湧上	出雲さわやか会	1 1	1 0 8	2 2
上代継	ニコニコサロン	9	2 5 4	1 8
油平	油平いきいき会	1 1	2 3 5	4 4
油平本町	油平本町すみれの会	6	7 5	6
富士見台	さくら富士見会	1 1	1 3 1	1 8
森山	もりもり元気会	1 1	1 5 2	0
高瀬	ニコニコびんぴん元気クラブ	1 1	2 2 6	2 2
草花	花ノ岡健康クラブ	1 1	2 5 3	2 2
折立	折々あおう会	1 1	2 0 1	3 3
西ヶ谷戸	西ヶ谷戸いってみんな会	9	8 1	2 7
瀬戸岡	瀬戸岡よってみようかい	9	1 2 3	3 5
草花住宅	草花住宅いきいき会	8	6 2	8
全地区（秋川）	イキイキ元気づくり会	9	1 6 7	1 7
山田	山田のびのび会	1 0	1 7 1	3 6
網代	むらさきつつじの会	9	8 5	9
新宿	新宿花みずき会	1 0	1 6 5	1 7
上宿	上宿健康クラブ	2	2 6	2
中平	中平ほがらか会	1 2	1 5 0	2 5
北伊奈	北伊奈いーな会	9	1 5 7	1 8
西伊奈	楽しくゆこう会	1 0	1 6 0	2 0

森ノ下	健康クラブ「スマイル」	1 1	1 4 7	1 1
横沢	横沢仲よし会	9	5 7	1 7
三内	笑って健康+わん	1 1	1 0 5	2 1
留原	留原健康ふれあいサロン	1 2	1 7 4	2 4
中村	中村あゆみ会	1 0	1 7 8	1 0
高尾	高尾はなまるサロン	6	1 0 7	1 0
上館谷	いきいきホットサロン	9	1 0 7	1 7
小倉	小倉元気会	1 2	6 9	2
山下	山下健康づくりの会	9	1 0 2	9
戸倉東部	大桜元気会	9	1 1 1	5
戸倉東部（盆堀）	ふるさとゆずの会	1 0	7 1	9
戸倉西部（星竹）	星竹若鮎会	9	5 6	9
戸倉西部（城山）	城山元気会	1 0	1 1 8	1 0
落合	落合いきいき元気かい？	1 0	1 1 1	1 0
乙津	乙津ふれあい元気会	活動休止中		
軍道	若がえろう会	1 0	9 3	8
養沢	養沢いきいき元気会	9	9 5	5
全地区（五日市）	イキイキ♡元気会	1 1	2 4 3	5 5
合 計	5 1 会場	4 6 9	6 , 7 4 4	9 0 8

8 健康のつどい事業

（１）事業の名称

第２３回あきる野市健康のつどい

（２）目 的 市民一人ひとりが、いつまでも健やかで豊かな人生を送るために、健康意識の高揚と、地域全体の健康づくり活動の推進を図ることを目的として開催した。

（３）開催日 平成３０年１０月１３日

（４）会 場 あきる野ルピア及び秋留野広場

（５）来場者数 延べ５，２９６人

（６）事業内容 展示、講演、測定・相談、活動発表、各種体験、薬物乱用防止啓発活動、愛の献血等

（７）会議等

「第２３回あきる野市健康のつどい運営委員会」をあきる野市健康づくり市民推進委員で組織し、企画、準備及び運営を担当した。

内 容	実施回数	委員出席者数
健康のつどい理事会	5	1 4
健康のつどい役員会	4	8 5
健康のつどい発足式及び事業報告会	2	1 3 0
合 計	1 1	2 2 9

内 容	開催日	委員出席者数 (前委員含む。)
前日準備	平成３０年１０月１２日	1 0 3
当日の運営	1 0 月 1 3 日	1 2 3
合 計		2 2 6

9 めざせ健康あきる野２１推進会議

あきる野市健康増進計画「めざせ健康あきる野 21（第二次）」（以下「21計画」という。）の周知と、「ふれあい いきがい 元気なまち」の実現に向け、市民と協働で事業を実施した。

（１）めざせ健康あきる野 21 推進会議

毎月 10 日前後に、市役所において、市民ボランティア、健康づくり市民推進委員等が、21 計画推進の事業内容、実施方法等を検討した。

ア 開催回数 12 回

イ 21 推進メンバー出席者数 延べ 457 人

（２）めざせ健康あきる野 21 推進会議代表者会議

各班の代表者による代表者会議を開催し、全体活動及び推進会議の運営等を検討した。

ア 開催回数 5 回

イ 21 推進メンバー出席者数 延べ 41 人

（３）全体活動

ア 第 16 回あきる野夏まつりにおける周知活動

21 計画に関する PR、各班の活動紹介等活動を実施した。

（ア）開催日 平成 30 年 8 月 4 日

（イ）会 場 秋留野広場、駅前大通り、マールボロウ通り

（ウ）参加者 一般 540 人 21 計画推進メンバー 15 人

イ 第 23 回あきる野市健康のつどいでの周知活動

各班の活動紹介等、21 計画に関する PR 活動を実施した。

（ア）開催日 平成 30 年 10 月 13 日

（イ）会 場 あきる野ルピア（ルピアホール）

（ウ）来場者 一般 613 人 21 推進メンバー 23 人

ウ ちょこっとサポート

がん検診や 21 推進事業でのお子さんのお預かりを実施した。

（ア）開催回数 5 回

（イ）会 場 あきる野保健相談所、秋川ふれあいセンター

（ウ）利用者 40 組親子 サポーター 21 人

（４）各班活動 ※準備会等は含まない。

区分・名称	実施回数	一般参加者数	21 計画推進メンバー等	内容
ふれあいウォーク	3	224	65	健康づくりとしてウォーキングを推進し、市内各地の景観地をコースに取り入れるなど多くの市民の参加により実施した。
身体活動講習会	1	70	22	講習テーマ「あと 10 分があなたの未来を変えます～コツコツ動くことが健康のカギ～」 講師：早稲田大学名誉教授 荒尾 孝氏 場所：中央公民館
子育て世代向け PR 活動 「バランスよく食べよう～主食・主菜・副菜～」	2	10 組親子	6	バランスよく食べることの大切さ、主食、主菜、副菜の役割と食品、具体的な料理の組み合わせ方等についてフリップやペーパーを用いてわかりやすく伝えた。 場所：子育てひろばいつかいち（五日市保健センター） 子育てひろばこころの（あきる野ルピア）

簡単料理レシピ講習会 ～バランスよく食べよう！～	2	3 5	1 6	バランスのよい食事をテーマに講話、調理実習及び交流会を実施した。また、講話や献立は、薬膳の考え方を取り入れた。 実習レシピ 鶏ささみの香り蒸し 海老とかぶのみぞれ煮 やまいもごはん 補腎養血茶 場所 五日市保健センター 秋川ふれあいセンター
イベント等での食育活動	1	—	8	第88回ふれあいウォークにおいて、食育クイズを実施し、バランスの良い食事・食生活について伝えた。
イベント等での周知活動	4	2 5 0	2 5	産業祭、簡単料理レシピ講習会、ふれあいウォークでめざせ健康あきる野21計画の周知活動を実施した。
合 計	1 3	5 9 9	1 4 2	

10 自殺対策研修

自殺対策を生きることの包括的支援として「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指すために、自殺対策に関する認識を深めるために実施した。

- (1) 開催日 平成31年2月5日 午後2時～3時35分
- (2) 会 場 あきる野市役所503・504会議室
- (3) 講 師 西多摩保健所 地域推進担当課長 小林 啓子氏
- (4) 対象者 市役所職員（※課長・係長級）
- (5) 参加者 37人

11 学生実習指導

東京都の保健師学生の実習配置計画に基づき保健師学生を、また、全国的な看護師不足が社会問題となる中で看護師の育成・確保という社会的要請に資すること等により看護師学生の実習を受け入れ、指導にあたった。

- (1) 保健師学生（公衆衛生看護学）実習
 - ア 実習生 杏林大学保健学部看護学科
 - イ 期 間 平成30年7月9日から7月20まで（土日祝を除く）
 - ウ 人 数 2人
- (2) 看護師学生（市町村保健センター等実習）
 - ア 実習性 杏林大学医学部附属看護専門学校
 - イ 期 間 平成30年11月14日から11月16日まで
 - ウ 人 数 3人

12 阿伎留病院企業団関係

秋川流域3市町村で組織運営する阿伎留病院企業団の負担金（分賦金）を、3市町村で均等割9%、人口割30%、利用割61%の率で負担した。

負担金額（年間） 834,043,000円

健康課 母子保健係

1 乳幼児健康診査

母子保健法に基づき、子どもの健やかな成長と発達及び健康増進のため、月齢や年齢に合わせて乳幼児健康診査の集団健診を実施した。未受診者には、健診の重要性を伝えるなど受診勧奨を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、乳幼児や家族の状況の把握に努めた。

(1) 3～4か月児健康診査

3か月から6か月の前日までの乳児を対象に、乳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有 所 見 延 べ 者 数			
				精密健診	受診（治療） 勧 奨	経過観察	その他
486	480	98.8	220	2	21	64	194

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月から2歳の前日までの幼児を対象に、1歳6か月児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	内 精 密 検 査	
				対象者	受診者
604	598	99.0	162	6	5

(3) 3歳児健康診査

3歳から4歳の前日までの幼児を対象に、3歳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有 所 見 延 べ 者 数			
				精密健診	受診（治療） 勧 奨	経過観察	その他
571	566	99.1	197	16	12	71	160

2 心理相談

子どもの発達や関わりへの不安を持つ親子を対象に、子どもが個性に合った成長ができ、安心して子育てができるよう支援をするために個別相談や集団事業を実施した。

1歳6か月児経過観察健康診査（心理）					3歳児経過観察健康診査（心理）				
個別相談		グループ指導（こあら）			個別相談		グループ指導（ぱんだ）		
実人員	延べ 人員	開催 回数	実人員	延べ 人員	実人員	延べ 人員	開催 回数	実人員	延べ 人員
46	73	12	21	92	31	63	12	13	93

3 妊婦健康診査（医療機関委託・個別）

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保するために妊婦健康診査（14回を限度）を実施した。（単位：人）

回数	受診者数	異常なし	有所見実数
1回目	440	435	5
2回目	432	429	3
3回目	424	423	1
4回目	430	428	2
5回目	430	428	2
6回目	424	417	7
7回目	423	418	5
8回目	415	406	9
9回目	412	398	14

10回目	404	396	8
11回目	388	384	4
12回目	363	353	10
13回目	276	272	4
14回目	197	193	4

※ 有所見実数については、有所見延べ者数

4 里帰り等妊婦健康診査受診費助成

東京都外の医療機関又は市外の助産所で妊婦健康診査を受診した方を対象に、妊婦健康診査の受診費用の負担軽減を図るために助成した。

(1) 助成人数 45人

(2) 助成件数

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
6	6	5	10	14	14	12
8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
19	27	35	35	33	27	15

5 新生児訪問（生後2か月まで）・こんにちは赤ちゃん事業（生後4か月まで）

生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に訪問し、乳児とその保護者の心身の状況及び養育環境の把握並びに助言を行うため乳幼児家庭全戸訪問を実施した。

(単位：人)

出生者数 500	訪問者数 492	訪問率 98.4%	訪問	492	新生児訪問	289
			訪問時 不在等	8	こんにちは赤ちゃん訪問	203
					里帰り	5
					拒否等	3

6 6～7か月児及び9～10か月児健康診査

6か月から8か月の前日、9か月から11か月の前日までの乳児を対象に、医療機関において健康診査（個別）を実施した。

(単位：人)

6～7か月児			9～10か月児		
受診者数	異常なし	有所見実数	受診者数	異常なし	有所見実数
499	457	42	518	480	38

7 訪問指導実施状況

妊産婦又は乳幼児の健康診査結果に基づき、助産師、保健師等が訪問し、保健指導を実施した。

妊 婦		産 婦		新 生 児		未 熟 児		そ の 他	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
378	387	287	413	254	257	8	8	294	452

8 保健指導（健康相談）実施状況（延数）

妊婦から幼児とその保護者を対象に、専門職による相談等を実施した。

(単位：人)

妊 婦		産 婦		乳 児		幼 児		その他	
面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話
476	116	21	130	585	158	1,329	103	0	3

9 育児相談

乳児から幼児とその保護者を対象に、個別に育児相談を実施した。

(単位：人)

あきる野保健相談所 (24回)		五日市保健センター(12回)		合 計 (36回)		
乳 児	幼 児	乳 児	幼 児	乳 児	幼 児	合 計
418	440	109	160	527	600	1,127

10 母親学級

出産・子育てに向けて、妊婦とその家族を対象に心の準備ができ、仲間とのつながりを持って安心して子育てができるよう支援した。

(1) 母性科

平日コース(3日制)				土曜日コース	
学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数	学級数	受講者数
4	12	91	142	4	84

(2) 育児科

乳幼児の成長に応じた適切な離乳食づくりを通して、食習慣の確立を支援することを目的に次の教室を実施した。

ア 乳児(離乳食の目的と進め方について、講話と試食により、乳汁から幼児食に移行するまでの基本的な知識を段階別に支援)

(ア) 離乳食教室(おおむね5～6か月の1回食)・ごっくんコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
10	10	65	65

(イ) 離乳食教室(おおむね7～11か月の2・3回食)・もぐもぐ・かみかみコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
8	8	65	65

(ウ) 離乳食教室(おおむね5～6か月の1・2・3回食)・総合コース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
2	2	9	9

イ 幼児(バランスのとれた幼児食や望ましいおやつ等について、講話と実習により、自立して食べることの確立に向けて、自食行動を起こし、望ましい食環境を整えることができるように支援)

離乳食教室(おおむね1歳～1歳6か月の幼児食)・ぱくぱくコース

学級数	開催日数	受講者数	受講者延べ数
4	4	37	37

11 歯科健診等

(1) 一般及び幼児歯科健康診査

歯科医師による口腔診査と個別相談及び歯科衛生士による集団での歯みがき指導と食生活の確認を実施した。

事業名	回数	人数	むし歯のない者	むし歯のある者
妊婦歯科健診(母親学級)	4	42	33	9
1歳6か月児健診	24	598	590	8
3歳児健診	24	564	503	61

(2) 乳幼児歯科相談

歯科健診や予防処置を継続的に行うことで乳幼児の口腔の健全な発育発達を促し、心身の健康増進を図るために実施した。

事業名	回数	人数	塗布歯数（本）
歯科健康診査	5 2	1, 1 5 2	
予防処置（フッ化物塗布）	1 4 7	1, 2 2 7	1 9, 9 9 2

（３）歯科健康教育

食生活とむし歯の関係、口腔清掃の正しい方法、口腔疾患の予防及び口腔機能の獲得を理解するために実施した。

事業名	回数	人数	事業名	回数	人数
むし歯予防教室	1 0	4 9	園はみがき指導	8	4 4 1
離乳食教室	1 4	1 0 2	乳児健康診査 （集団指導）	2 4	4 7 9

12 栄養指導

妊産婦や乳幼児とその保護者たちが望ましい食習慣を身に付け、健康的な子育てができるように、妊娠中の食事や離乳食のすすめ方の情報提供を集団と個別相談を通じて支援した。

妊 産 婦			乳 幼 児		
集団指導		個別栄養指導 （人）	集団指導		個別栄養指導 （人）
実施回数	延べ人員		実施回数	延べ人員	
8	1 2 3	6	1 2 3	1 2 1 0	5 9 5

13 乳幼児発達健診（年１２回・個別）

子どもの発育・発達上の問題を抱える親子を対象に、子どもが個性に合わせて成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による発達健診を実施した。

乳 児		幼 児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
1	1	1 8	6 2

14 乳幼児経過観察健診（年１２回・個別）

子どもの発育上の問題を抱える親子を対象に、子どもが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による経過観察健診を実施した。

乳 児		幼 児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
1 1	1 1	2 7	1 0 8

15 妊娠届受理件数

妊娠された方に、妊娠・出産の経過、子どもの発育状況、健康診査、予防接種等を記録する母子健康手帳や手引書、妊婦健康診査受診票、出生通知票などが入った「母と子の保健バッグ」を保健師等が面接し、交付した。

件数 4 7 5 件

16 出生通知票受理件数

赤ちゃんの母子保健サービスの入り口として、出生通知票を受理した。

件数 4 8 1 件

17 子育て関連情報の配信

年24回（毎月、上旬・中旬の2回）の配信のうち、中旬配信の12回を担当し、乳幼児の情報をメール登録者に配信した。

名 称	回 数	配信数（件）
子育て応援メール	12	2,007

18 未熟児養育医療助成

身体が発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を市が負担する制度

（1）給付件数等

（単位：件）

医療券認定件数	継続協議	変更届	再交付申請
13	0	0	0

（2）医療費助成件数及び金額

区分	件数	医療助成金額（円）	徴収金（円）C（A－B）			
				費用徴収額（円） A	食事療養費負担額（円） B	
社会保険	11	3,783,317	1,095,307	1,095,307	0食	0
国民健康保険	2	532,655	110,792	110,792	0食	0
合 計	13	4,315,972	1,206,099	1,206,099	0食	0

19 めざせ健康あきる野21（第二次）計画推進事業（ふれあい広場）

領域2の子育て・親子の健康「妊娠期からの切れ目のない子育て親子の健康づくり」をめざし、地域で安心して子育てができることを目標に、市の取組として親子のふれあいができる場を提供した。

開催日数 12日

参加人数 年間延べ219人

プログラム 絵本の読み聞かせ・紙芝居・手遊び・自由遊びなど

開催月	人数	絵本の読み聞かせ	紙芝居	手遊び
4月	13	「電車でいこう」「ぴよーん」	—	「ぐーちょきぱー」「とんとんひげじいさん」「ぱんだうさぎこあら」
5月	25	—	「おおきく おおきくなあれ」	「動物体操」「一本橋こちょこちょ」「頭・肩・膝ぼん」
6月	18	—	—	「げんこつ山のたぬきさん」「とんとんひげじいさん」「むすんでひらいて」
7月	18	—	—	「げんこつ山のたぬきさん」「とんとんひげじいさん」「ぐーちょきぱー」
8月	8	—	「おでかけ おでかけ」「ぎゅうっとだっこ」	「むすんでひらいて」「げんこつ山のたぬきさん」「てをたたきましよう」

9 月	2 4	「おおきく おおきく なあれ」	—	「頭・肩・膝ぼん」 「ぐーちょきぱー（アン パンマンバージョン）」
1 0 月	2 0	—	—	「大きな栗の木の下 で」「げんこつ山のた ぬきさん」
1 1 月	2 2	「ぴょーん」「ねずみ くんのチョッキ」	—	「げんこつ山のたぬき さん」「とんとんひげ じいさん」「ぐーちょ きぱー」
1 2 月	2 8	「電車でかえろう」	「おおきく おおきく なあれ」	「ぐーちょきぱー」 「頭・肩・膝ぼん」
1 月	1 7	—	—	「とんとんひげじいさ ん」「大きな栗の木 の下で」「むすんでひら いて」
2 月	1 6	「はらぺこあおむし」 「電車でかえろう」	—	「ぱんだ、うさぎ、こ あら」「大きな栗の木 の下で」
3 月	1 0	—	—	「大きな栗の木の下 で」「とんとんひげじ いさん」

20 東京都子ども医療費助成申請書等受理件数

小児慢性疾患医療費助成

児童福祉法第21条の5の規定により、慢性疾患にかかっていることにより長期に療養を必要とする児童等の健全な育成を図るため、東京都が実施し、市が申請等の手続処理を行った。

小児慢性疾患医療費助成 申請書兼同意書（新規）	小児慢性疾患医療費助成 申請書兼同意書	変更届	医療券再交付申請書
1 4	5 8	1 4	0

21 特定不妊治療費助成

医療保険が適用されない高額な特定不妊治療を受診者の経済的負担を軽減するため、医療費の助成事業を実施した。

（１）助成人数 3 2 人

（２）助成件数 5 0 件

健康課 予防推進係

1 予防接種法関係

予防接種法に基づき、次の定期予防接種をあきる野市医師会の協力を得て実施し、感染症の予防を図った。未接種者に対しては、勧奨通知の送付や乳幼児健診時の指導のほか、予防接種モバイルサービスを提供し、接種率の向上に努めた。

(1) 予防接種別実施状況

ア ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後 3 月から生後 9 0 月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後 3 月に達した時から生後 1 2 月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3 回）終了後 1 2 月から 1 8 月までの間隔をおく。

接種方法	種 別			対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第 1 期	初 回	1 回 目	5 2 2	4 7 3	9 0 . 6	1 6 委 託 医 療 機 関 で 実 施
			2 回 目	5 2 2	4 6 8	8 9 . 7	
			3 回 目	5 2 2	4 6 6	8 9 . 3	
		追 加		5 5 2	5 9 4	1 0 7 . 6	
合 計				2 , 1 1 8	2 , 0 0 1	9 4 . 5	

イ 急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後 3 月から生後 9 0 月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後 3 月に達した時から生後 1 2 月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3 回）終了後 1 2 月から 1 8 月までの間隔をおく。

接種方法	種 別			対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第 1 期	初 回	1 回 目	0	0	—	1 2 委託医療 機関で実施
			2 回 目	0	1	—	
			3 回 目	0	2	—	
		追 加		0	1 4	—	
合 計				0	1 7	—	

※ 平成 2 4 年より、イの急性灰白髄炎のみの接種からアの四種混合接種に変更になったため、対象者数は抽出不可

ウ ジフテリア、破傷風

(ア) 対象者

2 期 1 1 歳以上 1 3 歳未満の者

(イ) 標準的な接種期間

1 1 歳に達した時から 1 2 歳に達するまでの期間

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第 2 期	8 0 0	5 8 1	7 2 . 6	1 8 委託医療機関で実施

エ 麻しん、風しん

対象者

1 期 生後 1 2 月から生後 2 4 月に至るまでの間にある者

２期 ５歳以上７歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の１年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第１期	５８６	５４８	９３．５	１期１７、２期１８委託医療機関で実施
	第２期	６４７	５９９	９２．６	
合 計		１，２３３	１，１４７	９３．０	

オ 日本脳炎

（ア）対象者

１期初回・追加 生後６月から生後９０月に至るまでの間にある者

２期 ９歳以上１３歳未満の者

（イ）標準的な接種期間

１期初回 ３歳に達した時から４歳に達するまでの期間

１期追加 ４歳に達した時から５歳に達するまでの期間

２期 ９歳に達した時から１０歳に達するまでの期間

接種方法	種 別			対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第 1 期	初 回	1 回 目	5 8 7	5 9 4	1 0 1 . 2	1 期 1 6、2 期 1 9 委 託 医 療 機 関 で 実 施
			2 回 目	5 8 7	5 7 2	9 7 . 4	
		追 加		6 4 4	6 7 8	1 0 5 . 3	
	第 2 期		7 5 4	6 8 0	9 0 . 2		
合 計				2 , 5 7 2	2 , 5 2 4	9 8 . 1	

カ 日本脳炎（特例対象者）

対象者 平成７年４月２日から平成１９年４月１日生まれまでの２０歳未満の未接種者

接種方法	種 別			対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第 1 期	初 回	1 回目	1, 1 3 3	3 8	3. 4	1 期 1 6、2 期 1 9 委託医療機関で実施
			2 回目	1, 1 3 8	4 3	3. 8	
		追 加		1, 3 4 3	1 0 1	7. 5	
	第 2 期		2, 1 2 8	3 2 0	1 5. 0		
合 計				5, 7 4 2	5 0 2	8. 7	

キ 結核（ＢＣＧ）

（ア）対象者

生後１歳に至るまでの間にある者

（イ）標準的な接種期間

生後５月に達した時から生後８月に達するまでの期間

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	実施日数
集団接種	５２７	４７２	８９．６	１８

ク Hib（ヒブ）感染症

（ア）対象者

生後２月から生後６０月に至るまでの間にある者

（イ）標準的な接種期間

初回接種開始は、生後２月から生後７月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後７月から１３月までの間隔をおく。

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	初 回	１回目	５２７	４８８	９２．６	１５委託医療機関で実施
		２回目	５２７	４７６	９０．３	

	3 回目	5 2 7	4 6 1	8 7 . 5
	追 加	5 2 7	5 4 4	1 0 3 . 2
合 計		2 , 1 0 8	1 , 9 6 9	9 3 . 4

ケ 小児の肺炎球菌感染症

(ア) 対象者

生後 2 月から生後 6 0 月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

初回接種開始は、生後 2 月から生後 7 月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後 6 0 日以上の間隔をおいて生後 1 2 月から生後 1 5 月に至るまで

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	初 回	5 2 7	4 8 7	9 2 . 4	1 5 委託医療機関で実施
	2 回目	5 2 7	4 8 0	9 1 . 1	
	3 回目	5 2 7	4 6 3	8 7 . 9	
	追 加	5 2 7	5 4 4	1 0 3 . 2	
合 計		2 , 1 0 8	1 , 9 7 4	9 3 . 6	

コ ヒトパピローマウイルス感染症

(ア) 対象者

1 2 歳となる日の属する年度の初日から 1 6 歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子

(イ) 標準的な接種期間

1 3 歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	1 回目	1 , 8 8 7	1	0 . 1	1 4 委託医療機関で実施
	2 回目	1 , 8 8 7	1	0 . 1	
	3 回目	1 , 8 8 7	1	0 . 1	
合 計		5 , 6 6 1	3	0 . 1	

サ 水痘

(ア) 対象者

生後 1 2 月から生後 3 6 月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 回目 生後 1 2 月から生後 1 5 月に達するまで

2 回目 1 回目の接種終了後 6 月から 1 2 月までの間隔をおく。

接種方法	種 別	対象者	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	1 回目	5 8 6	5 4 1	9 2 . 3	1 5 委託医療機関で実施
	2 回目	5 8 6	4 9 2	8 4 . 0	
合 計		1 , 1 7 2	1 . 0 3 3	8 8 . 1	

シ B型肝炎（平成 2 8 年 1 0 月 1 日から定期接種化）

(ア) 対象者

生後 2 月から生後 1 2 月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

生後 2 月に至った時から生後 9 月に至るまで。2 7 日以上の間隔を空けて 2 回接種した後、1 回目の接種から 1 3 9 日以上の間隔をおいて 1 回接種する。

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率 (%)	備 考
個別接種	1 回 目	5 2 7	4 8 5	9 2 . 0	1 5 委託医療機関で実施
	2 回 目	5 2 7	4 7 2	8 9 . 6	
	3 回 目	5 2 7	4 8 9	9 2 . 8	
合 計		1 , 5 8 1	1 , 4 4 6	9 1 . 5	

ス インフルエンザ

対象者 満 6 5 歳以上及び 6 0 歳以上 6 5 歳未満の者であって政令で定める者

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率 (%)	備 考
個別接種	2 3 , 7 1 8	9 , 3 5 1	3 9 . 4	1 6 0 委託医療機関で実施

セ 高齢者肺炎球菌ワクチン

対象者 平成 3 0 年度中に 6 5 歳、7 0 歳、7 5 歳、8 0 歳、8 5 歳、9 0 歳、9 5 歳、
1 0 0 歳となる者及び 6 0 歳以上 6 5 歳未満の者であって政令で定める者

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率 (%)	備 考
個別接種	3 , 3 2 8	2 , 3 7 1	7 1 . 2	2 4 委託医療機関で実施

(2) 予防接種健康被害調査委員会

事故の発生がなかったため、委員会は開催しなかった。

2 任意予防接種等事業関係

あきる野市医師会の協力を得て、風しん抗体検査及び風しん予防接種を実施し、先天性風しん症候群の発生防止に努めた。

(1) 先天性風しん症候群対策風しん抗体検査事業

対象者 市内に住所を有する 1 9 歳以上の者で、妊娠を予定又は希望している女性及びその女性と同居している者並びに妊婦と同居している者

※ 既に風しんワクチン（混合ワクチン含む。）を 2 回以上受けている者又は自身で抗体検査を受け、低抗体者（HI 法 1 6 倍以下、EIA 法における EIA 価 8 . 0 未満又は国際単位

① 3 0 1 U / m l 未満、国際単位② 4 5 1 U / m l 未満）と確認できる者は除く。

検査方法	受診券発行数	検査済者数	検査率 (%)	備 考
個別検査	2 3 1	2 0 2	8 7 . 4	2 3 委託医療機関で実施

(2) 先天性風しん症候群対策風しん予防接種助成事業

対象者 市内に住所を有する 1 9 歳以上の者で、妊娠を予定又は希望している女性及びその女性と同居している者並びに妊婦と同居している者で、次のいずれかに該当する者

- ・ 風しん抗体検査を受け、低抗体者であると判明した場合
- ・ 妊婦健康診査で低抗体者であると判明し、出産後速やかに接種を受ける場合
- ・ 自身で抗体検査を受けた場合などで、低抗体者であると確認できる場合

接種方法	助成券発行数	接種済者数	接種率 (%)	備 考
個別接種	1 1 1	8 5	7 6 . 6	2 3 委託医療機関で実施

3 休日診療関係

(1) 内科診療

休日における急病者の利便を図るため、あきる野市医師会の協力を得て休日診療及び準夜診療を 7 3 日実施した。

休日診療（9 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0）	準夜診療（1 7 : 0 0 ～ 2 2 : 0 0）	合 計
---------------------------	-----------------------------	-----

診療科目	内科	小児科	その他	小計	診療科目	内科	小児科	その他	小計	
受診者数	1,792	1,375	225	3,392	受診者数	445	185	132	762	4,154
1日当たり平均受診者数	24.5	18.8	3.1	46.5	1日当たり平均受診者数	6.1	2.5	1.8	10.4	56.9

(2) 歯科診療

休日における急病患者の利便を図るため、東京都西多摩歯科医師会の協力を得て休日診療を45日実施した。

休日診療（9：00～17：00）		
診療科目	受診者数	1日当たり平均受診者数
歯 科	77	1.7

4 畜犬登録事務

畜犬登録事務を次のとおり行った。

新規登録数	246件
鑑札再交付	12件
無償交付数	0件
鑑札交換数	125件
捕獲犬の拘留に関する公示	6件
引き取り、収容動物の公示	2件
登録総数（年度末現在）	4,468頭

5 薬物乱用防止活動

健康のつどい、成人式等の会場において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

東京都薬物乱用防止推進秋川地区協議会あきる野支部により、青少年の薬物乱用防止対策の一環として、中学生を対象に薬物乱用防止ポスター・標語を募集し、応募作品の展示を行った。

標語応募数	1,353
ポスター応募数	188

6 エイズ予防運動

市庁舎、あきる野保健相談所及び成人式等の会場において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

7 献血関係

市庁舎北側駐車場など、延べ2会場で計3日、献血を実施した。

受付者数	献血者数	献 血 内 容 （単位：人）		
164	145	200cc	400cc	成分献血
		6	139	0